

# 平成30年度中小企業等支援人材育成事業 (中心市街地活性化普及促進事業) 報告書

2019年3月

株式会社野村総合研究所コンサルティング事業本部

# 目次

事業	ഗ	全	体	옐
士不	•,	ᆂ	1	120

研修事業(座学研修)

研修事業(実地研修)

まちづくりオープン会議

次世代会議

ポータルサイトの運営/維持・管理

事業の広報および追加実施事項

# 事業の全体像

# 本事業の目的(仕様書からの抜粋)

- 中心市街地活性化をはじめとするまちづくりでは、産学官金労言等を含めた多様な主体の参画、連携、協働のもと、 まちを経営するという視点にたって、まちを牽引し、プロデュースする組織や人材が不可欠であり、地域自らが、 このような組織・役割の一翼を担うリーダー人材を育成することや確保することが重要である。
- 本事業では、地域における人材の育成・確保の一助となるよう、まちづくりの人材を育成するための研修、シンポジウムの 開催等を行うとともに、関連サイトに、まちづくり関連イベント、取組事例、調査・統計データ、施策動向等を掲載し、 まちづくりにとって有益な情報の集約、発信、交換等の場の提供を行うものとし、これらを通じ、中心市街地及び地域経済の 活性化を図ることを目的とする。

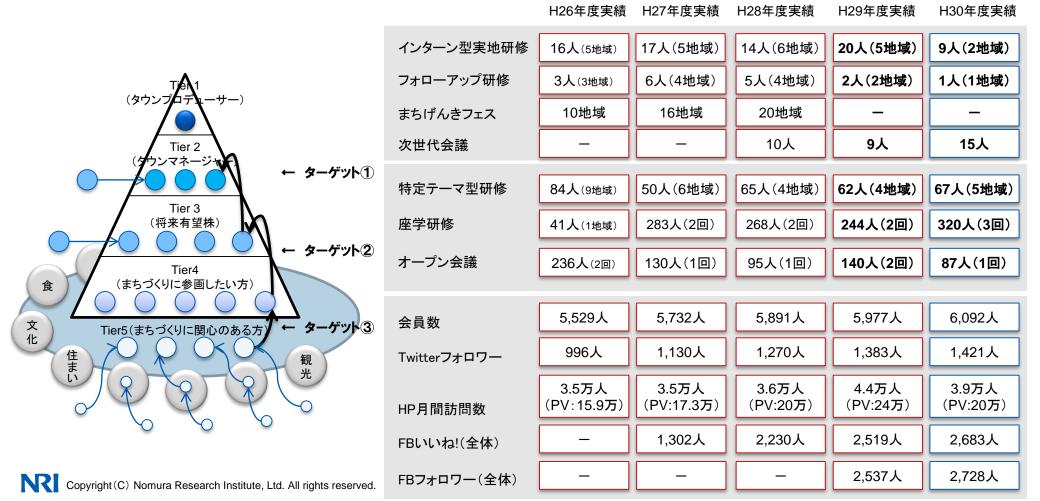
# 本年度実施した事業内容の一覧

- 本事業の背景と目的を踏まえ、本年度は、以下の事業を実施した。
  - まちづくり人材育成研修
    - 座学研修
    - インターンシップ型実地研修 (および事後集合研修)
    - フォローアップ研修
    - 特定テーマ型実地研修
    - まちづくり次世代会議
  - まちづくりオープン会議
  - 委員会の開催

- ポータルサイト(街元気サイト)の維持・管理・運営
  - 今年度の運営状況(会員登録状況)
  - 今年度の運営状況(訪問者数・ページビュー数)
  - まちづくりに関する各種情報提供
  - SNSを活用した情報提供
  - マチイベ(街のイベント情報)の登録・公開
  - コラムの掲載
  - 統計情報の掲載
  - 街元気サイトの確実な管理運営
  - 無効メールアドレス対策
- ■事業の広報活動
  - SNSの活用
- ■事業の効果測定

# 昨年度レビューと事業のKPIに対する実績

- 昨年度は、研修事業の充実を図り、タウンマネージャー等の育成を進めてきた。 また、HPやSNSをフックにまちづくりに漠然と関心のある層を拡大してきた。
- さらに、本年度は、全国TM協会との連携のもと、より、実効性の高い研修を検討・実施した。



(1)まちづくり人材育成研修 ①座学研修(1)

# 座学研修の概要

- 回数:座学研修初級篇を1回と、座学研修中級篇を2回実施済み
  - 座学研修(初級篇):平成30年9月4日(火)~9月5日(水)
  - 座学研修(中級篇第1回:経産省・補助事業テーマ):平成30年10月17日(水)
  - 座学研修(中級篇第2回:地域まちづくり会社・商店街振興組合等の経営テーマ):平成31年3月6日(水)
- 各コマに様々な分野が含まれるよう配慮
  - 過年度同様に、まちづくりに関わる実践的な取組・事例紹介を中心に構成を企画。
  - 上記の他、まちづくり分野の外からも知見を得るため、初級篇ではライトニングトークも実施。

### 座学研修の概要

- 参加者の受講満足度向上に向けた、プログラム構成上の配慮
  - 昨年度と同様、基本的に一コマ70分程度で実施。
  - 初級篇は、まちづくりの現状分析、課題発見から、ハード・ソフト事業の進め方等、体系的に学ぶ講義を実施した。
    - ・ 今回は、過年度の研修受講生にもご登壇をお願いした。また、行政担当者の講義を初めて実施、同じ行政担当者 からの質疑が数多く寄せられた。
    - ・ なお、講師の辻氏がご家庭の事情で急遽欠席、全国TM協会原田氏・服部氏によるショートプレゼンならびにパネルディスカッションを実施した。
  - 中級篇第一回では、経産省・補助事業をうまく活用した事業を実施している地域をテーマにした講義を実施した。
    - 補助事業の成果を真正面に捉える点で、少し難しいテーマと懸念されたが、講師の方々には、事業を推進する上で苦労したこと等も含め、赤裸々に語っていただいたことが、来場者の一定の評価につながったものと考えられる。
    - 一方、自治体からの参加者が多く、具体的な事業の「お金の流れ」や、補助金の申請・活用方法の学びを期待していた方々も多かったため、今後の対応が検討される。
  - 中級篇第二回では、<u>まちづくり会社と商店街振興組合等の経営</u>をテーマにした講義を実施した。
    - まちづくり会社や商店街振興組合、民間企業等において、実際に組織のトップとして経営に携わられている方々を 講師として招聘したことから、人気の高い講座となった。
    - また、今回は座学研修についてもWEB申込みに切替えたことも、集客につながったものと考えられる。
    - ・ 定員60名のところ、応募数は88名と、30名弱超過となった。

### 座学研修の概要

- ■告知の実施
  - 街元気サイト、メルマガ、SNSの他、各組織(自治体、商工会議所、まちづくり会社等)に対して書面にて郵送案内。
  - 書面には当日のタイムスケジュールを加筆するなどサイトアクセスの誘引を図った。
- ■応募者数
  - (内訳:初級篇153名 中級篇第1回79名 中級篇第2回88名) ● 320名





# 座学研修(初級篇):プログラム

9月4日(火)	内容
12:00-	開場•受付開始
13:00-13:10	開会挨拶(経済産業省)
13:10-14:20	「自走するまちを支えるまちづくり会社の意義」 株式会社まちあい徳山 代表取締役 河村 啓太郎 氏
14:35-15:45	「まちづくりにおける商工会議所の役割と期待」 田辺商工会議所 中小企業相談室 経営指導員室長 尾崎 弘和 氏
16:00-17:30	若手タウンマネージャーの取組紹介・パネルディスカッション ◇パネリスト 株式会社みらいもりやま21 マネージャー 石上僚氏 特定非営利活動法人クロスメディアしまだ 事務局長 兒玉 絵美氏 特定非営利活動法人てごねっと石見 地域コーディネーター 盆子原 照晶 氏
17:30-17:45	施策紹介
18:30-19:30	交流会

9月5日(水)	内容
09:00-	開場∙受付開始
09:30-10:40	報告+パネルディスカッション 官民連携によるまちづくり〜エリアマネジメントによる 大通地区の再生〜」 札幌大通まちづくり株式会社 取締役統括部長 服部 彰治 氏 「三原市の中心市街地活性化」 全国タウンマネージャー協会 原田 弘子 氏
10:55-12:05	「多様な主体が参画するまちづくりにおける行政の役割」 伊丹市教育委員会生涯学習部参事 兼 図書館長 兼 都市活力部参事 綾野 昌幸 氏
13:15-13:55	ライトニングトーク① 個別分野専門家によるショートプレゼン—
13:55-14:35	ライトニングトーク② 個別分野専門家によるショートプレゼン—
14:35-14:50	施策紹介
14:50-15:00	まちげんきからのお知らせ
15:00-	クロージング

# 座学研修(中級篇第1回):プログラム

### 【テーマ】地域活性化に補助金をどのように活用するのか~施設整備とソフトの融合戦略による成功事例に学ぶ~

● 対象:まちづくり会社、TMO、DMO、経済団体、自治体職員、民間企業の経営者及びプロジェクトマネジャー等の意思決定できる方々

10月17日(水)	内容
12:30-	開場
13:00-13:10	「ハピリンができて変わったこと、変わらなかったこと」 まちづくり福井株式会社 代表取締役社長 岩崎 正夫 氏
13:10-13:50	「中心市街地を日光のゲートタウンに・・・」 日光商工会議所 専務理事 五味渕 一友 氏
13:50-14:30	「魅力あるまちの奥行きづくり!子育て世代が立ち寄る場と空間を創出する」 豊田まちづくり株式会社 まちづくり推進部 杉本 恭一 氏
14:45-15:25	「応援の連鎖がまちを変える〜日南市油津商店街の再生からみる地方創生の新しいかたち〜」 株式会社油津応援団 専務取締役 木藤 亮太 氏
15:25-16:05	パネルディスカッション ◇コーディネーター 株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役 関 幸子 氏 ◇パネリスト まちづくり福井株式会社 岩崎 正夫 氏 日光商工会議所 五味渕 一友 氏 豊田まちづくり株式会社 杉本 恭一 氏 株式会社油津応援団 木藤 亮太 氏

# 座学研修(中級篇第2回):プログラム

### 【テーマ】 地域まちづくり会社、商店街の活かし方をTOPに学ぶ~失敗しないまちづくり会社・商店街振興組合等の経営手法とは~

● 対象:まちづくり会社、TMO、DMO、経済団体、自治体職員、民間企業の経営者及びプロジェクトマネジャー等の意思決定できる方々

3月6日(水)	内容
12:30~13:00	開場・受付開始
13:00~13:05 (5分)	■開会挨拶 経済産業省 地域経済産業グループ 中心市街地活性化室長 松原 浩司 氏
13:05~13:45 (40分)	■発表① 「わがまちを愛し、誇れるまちづくりを ~みんなでつくろう松山のまち~」 株式会社まちづくり松山 代表取締役社長 加戸 慎太郎 氏
13:45~14:25 (40分)	■発表② 「復興から自立へ、石巻の挑戦」 株式会社元気いしのまき 代表取締役社長 後藤 宗徳 氏
14:40~15:20 (40分)	■発表③ 「小さな商店街を小さく変えていくこと」 沼津あげつち商店街振興組合 理事長 小松 浩二 氏
15:20~16:00 (40分)	■発表④ 「東北から始まる未来志向による創造的産業の創出」 株式会社ワンテーブル代表取締役 島田 昌幸 氏
16:00~17:00 (60分)	■パネルディスカッション ◇コーディネータ 関 幸子氏(株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役) ◇パネリスト 加戸 慎太郎氏(株式会社まちづくり松山 代表取締役社長) 後藤 宗徳氏(株式会社元気いしのまき 代表取締役社長) 小松 浩二氏(沼津あげつち商店街振興組合 理事長) 島田 昌幸氏(株式会社ワンテーブル代表取締役)

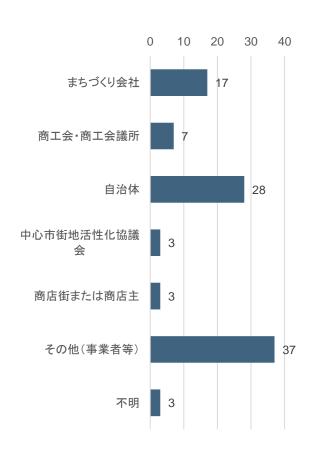
# 座学研修参加者属性分析

■ 自治体からの参加者が多く、その他では民間事業者からの参加者も多く見られた。

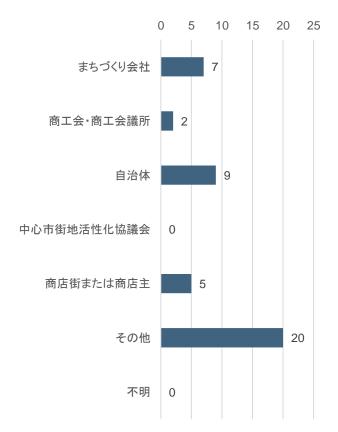
(座学研修 初級篇)参加者属性(N=98)

(座学研修 中級篇第1回)参加者属性(N=61)

(座学研修 中級篇第2回)参加者属性(N=43)



10 20 30 まちづくり会社 6 商工会:商工会議所 自治体 20 中心市街地活性化協議 商店街または商店主 その他(事業者等) 31 不明



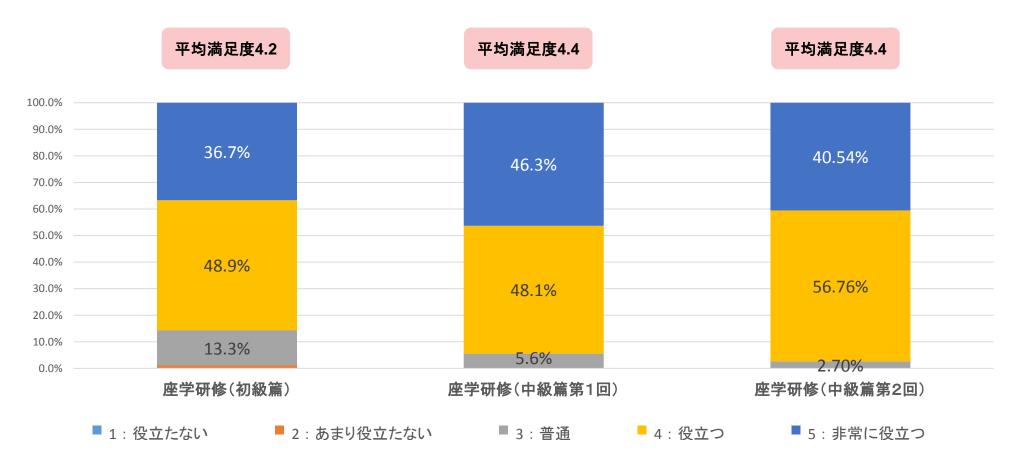
※ その他(事業者等)の内訳として、鉄道会社、不動産 コンサルタント、建設コンサルタント、建設会社、通信 事業者、広告代理店、金融機関等があった。

※ その他(事業者等)の内訳として、建設会社、 広告代理店・イベント会社、建設コンサルタン ト、金融機関等があった。

※ その他(事業者等)の内訳として、研究機関、 建設会社、不動産デベロッパー、建設コンサ ルタント、金融機関等があった。

# アンケート結果:研修の満足度(5段階評価、平均スコア)

- 平均満足度は、初級篇が「4.2」、中級篇第1回が「4.4」、第2回が「4.4」であった。
- 座学研修では、新しい研修テーマとして、経産省・補助事業を扱ったが、一定の評価を得ることができた。



# アンケート結果:研修の満足度(研修に対する感想・意見・要望)

#### 座学研修(初級篇)に対する感想・意見・要望

#### (感想)

- タウンマネージャに着任して問もない私としては、入団直後にサ ムライジャパンの合同キャンプに参加させていただいたような感 じで、大変有意義な2日間だった。
- 地方銀行所属なので、ついファイナンスについて考えてしまう。 資金はどうしているのか、よく分からない人が多く、不思議な分 野だと感じた。
- まちづくり事業のイニシャルコストとランニングコストの考え方を 学びたい。
- パネルディスカッションにおいて、付箋で質問を書いて答えて頂 く形式は質問しやすく良かった。
- 今回の事例は地域の規模が大きく、駅前の事例が多かったた め、人口5~10万人規模のまちの事例が知りたい。

#### (意見・要望)

- 受講の際は、できるだけ講師やスライドをみながら心がけ理解 に努めているが、量も多いため、パワポの紙資料を配布して欲 しい。自分が理解するだけでなく、団体の代表として来ているた め、内容をできるだけ共有し、活かすために欲しい。
- 「マーケット・マルシェ・市でまちを変える」といったテーマで、 マーケットの開催による都市と都市周辺部での街おこしの可能 性について企画をお願いしたい。その際、マーケット開催による 農業生産者、地方農業との関係性の可能性にも触れて欲しい。



- 金融機関の方からまちづくりの資金運営に関する興味関心が示された。
- ■「マーケット」や「農業」と関連したテーマの企画の要望がある。
- 改善点として、パワポ資料の配布が受講者のためになる。



# アンケート結果:研修の満足度(研修に対する感想・意見・要望)

### 座学研修(中級篇第1回)に対する感想・意見・要望

#### (感想)

- 定期的にやってもらいたい。
- 貴重なお話を沢山お聞きして、参考になった。
- まだまだ知らない各地の取組みがたくさんあると感じたので、 今後とも多くの例を探し出して紹介して欲しい。
- とても良い研修だった。地元に戻り、経験を活かしたい。
- 木藤さんのような若くて話上手で、行動力のある方をドンドン講 師に呼んで欲しいと思った。ただの事業紹介なら、Webである 程度知ることができる。知りたいのは、その先の資料やWebで は見えないところである。
- こうした活動、考えを知ることが地域金融に必要と感じた。

#### (意見・要望)

- 成功事例の紹介は魅力的で面白かったが、どのような助成金 が、どんな事業に、どこから、いつ交付されるのか情報が欲し L10
- DMO、補助金等の助成を得るための、具体的な企画、申請方 法、そのテクニックを実例を元に知りたい。
- 講師との交流の場があると面白い。
- テーマを2つくらいに絞って時間を増やして欲しい。
- 講義は1つに減らして、その分他を長くしたほうが良かった。
- 金融機関の方から、まちづくりの資金運営に関する興味関心が示され た。
- 具体的なお金の流れを知りたいとの意見があった。

#### 座学研修(中級篇第2回)に対する感想・意見・要望

#### (感想)

- 街元気の座学研修は多くの情報を得る機会となっているので、 これからも、タイムリーな話題、まちづくりで共通する同起点など を解決できる研修を続けてほしい。
- 「パネル」+「プレゼン」が良かった。
- 1つの企業ではなく、いくつかの企業と連携して、まちづくりを 行っています。今ある案件の参考にしたいと思います。
- 1つのプロジェクトについて、誰がどう考え、動き、課題を解決し てきたのか?生々しいコトも含めお聞きしたいと思いました。どう 皮を切って、どうやって継続させるか?については、深く知りた い、ディスカッションしたいと思いました。
- 町づくり、エリアマネージメントの方向性のヒントになりました。
- 良い機会をありがとうございました。講演10分+関さんとのやり とり20-30分を繰り返し、パネル等にするとおもしろいと思います

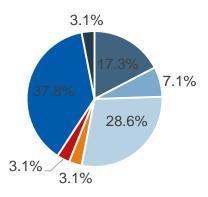
#### (意見・要望)

- 会場が狭い。
- パネルディスカッションよりセミナーのみで良いと思う。
- 時間的には半日でちょうど良いが、講議数を半分にし、より詳細 な取組を聞きたい。後半の講議資料がなく、残念。
- 地方開催をしてほしい。
- 講師人数を絞って、講師あたりの時間をゆとりをもたしてほし い。
- 講義数を減らし、特定の事例を詳細に学びたいという要望も聞こえた。

# アンケート結果:受講者情報

# 所属はその他が多く、30代から50代まで各2割。きっかけはメルマガが3割以上と多い。

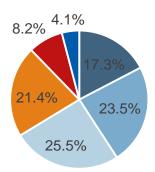
### 回答者の属性



- ■まちづくり会社
- ■商工会・商工会議所
- ■自治体
- ■中心市街地活性化協議会 商店街または商店主
- ■その他(事業者等)

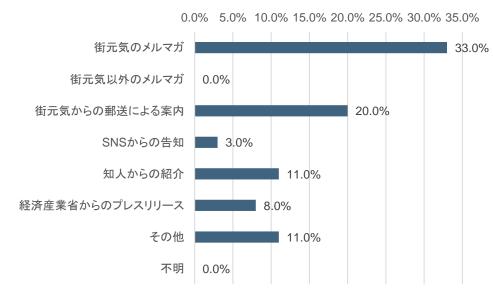
■不明

### 回答者の年齢



■ ~20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代~ ■ 不明

#### 座学研修を知ったきっかけ

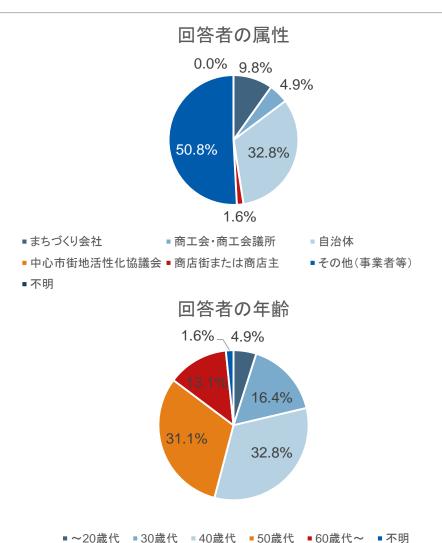




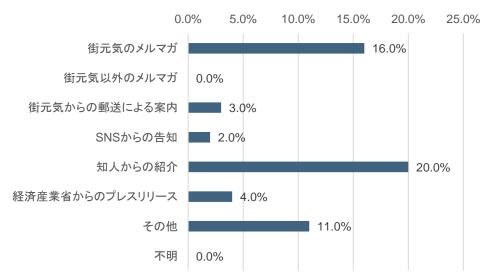
### 座学研修(中級篇第1回)

アンケート結果:受講者情報

所属はその他、40代、50代が多い。知人紹介の他に、メルマガ・プレスリリースが多い。



### 座学研修を知ったきっかけ

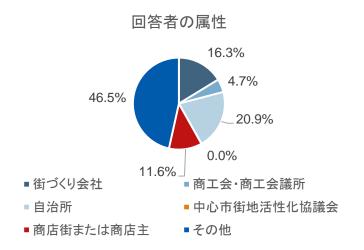


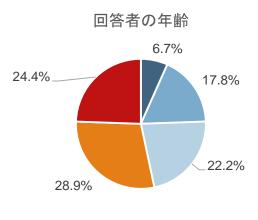


### 座学研修(中級篇第2回)

アンケート結果:受講者情報

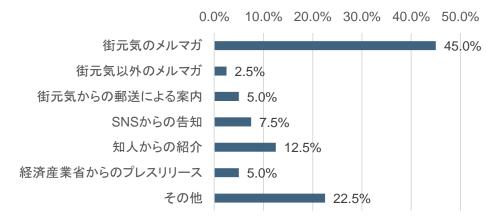
# 所属はその他、40代、50代が多い。知人紹介の他に、メルマガ・プレスリリースが多い。





■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代以上

#### 座学研修を知ったきっかけ





### 開催レポート

- 座学研修初級編は、まちづくりの専門家を講師として、まちの現状分析から課題の発見、ハード・ソフト事業の進め方等、まちづくりに関する様々 なノウハウを広く体系的に学ぶ機会として、9月4日(火)~5日(水)の2日間、東京で開催しました。
- 今年度の初級編は、特に地域のまちづくりに携わるプレイヤーを支える、サポートの役回りを担う地域の支援機関や企業、まちづくり関係者に期 待される役割に焦点を当てて開催しました。
- 当日のプログラムと概要は、下記の通りです。

#### 【9月4日(火)】

●講演:「自走するまちを支えるまちづくり会社の意義」 株式会社まちあい徳山 代表取締役 河村 啓太郎 氏 ●講演:「まちづくりにおける商工会議所の役割と期待」 田辺商工会議所中小企業相談室経営指導員室長 尾崎 弘和 氏



「自走するまちを支えるまちづくり会社の意義」につい て、ご講義いただきました。

始めに、自走するまちづくり会社に必要な「まちづくり とは、自分の暮らすまちの信用創造」という考え方を 説明し、中心市街地活性化に向けてまちあい徳山が 取り組んできた創業支援、リノベーション、情報発信 活動等の具体的な取組や、その背景となっている考 え方についてご紹介いただきました。

特に、空き店舗のリノベーション等、収支にこだわりつ つもまちに還元する仕組みづくりの重要性について 説明して頂きました。



自らの経験を踏まえたまちづくりにおける商工会 議所の役割と期待について講義していただきまし *t*= °

中心市街地活性化の認定をきっかけにして取り 組んだ景観まちづくり刷新事業、関係者を巻き込 み空き店舗を活用した田辺エキストラ商店街、プ ロセスを大切にした弁慶広場などの田辺市駅前 商店街における取り組みをご紹介頂きました、ま た、まちづくりの心得として、つなぎ役に徹する、 余計な敵を作らない、評論家にならない、飲む時 間を大切にするという4点を紹介して頂きました。

# 開催レポート(つづき)

- ■「若手タウンマネージャーの取組紹介・パネルディスカッション」
- 3名の若手タウンマネージャーに登壇していただき、それぞれの取組をご報告頂いたうえで、パネルディスカッションを行いました。
- ●報告:「創意工夫を形にする仕組みづくり」 特定非営利活動法人てごねっと石見 地域コーディネーター 盆子原 照晶 氏



江津市で活動するNPOてごねっと石見について、移 住・創業支援部、駅前活性部の取組を紹介して頂き ました。

NPO設立のきっかけとなった移住・創業支援のため に「ビジネスプランコンテスト」に取り組んできたこと、 中活計画策定を機に始めた駅前支援について、「ま ず仲間づくりから」から始め、イベント、空き店舗対策、 指定管理業務等の取組を展開してきたことを報告し ていただきました。

●報告:「TMの取組紹介~静岡県島田市の場合~」 特定非営利活動法人クロスメディアしまだ事務局長 兒玉 絵美 氏



島田市における具体的な取組として、①こどもわく ワーク~島田発地域丸ごと学校計画、②大井川駅の 無人駅の芸術祭、③島田市市民活動センター運営業 務、④地域情報誌「ココガネ」について紹介して頂き ました。

また、まちづくりに必要な人材として、プロデューサー (企画・運営力)、コーディネーター(つなぎ力)、伴走 者(聞く力・よりそう力)をあげていただきました。

●報告:「みらいもりやま21の事例」 株式会社みらいもりやま21 マネージャー 石上 僚 氏



守山市で、中活認定のために設立された3セクのまち づくり会社、みらいもりやまの取組の特徴にについて ご説明して頂きました。

人口が増加する中、指定管理事業で教育施設「あま が池プラザ」の管理運営に取り組んだこと、それに留 まらず自立したまちづくり会社の運営に向けて、空き 店舗のサブリース等の事業に取り組んでいること等、 についてお話しいただきました。

# 開催レポート(つづき)

#### 【9月5日(水)】

- ■「まちづくりトーク」
- 札幌大通まちづくり株式会社の服部彰治氏、三原市タウンマネージャーの原田弘子氏に登壇していただき、それぞれの取組をご報告頂いたうえ で、パネルディスカッションを行いました。
- ●報告:「官民連携によるまちづくり~エリアマネジメントに よる大通地区の再生~」

札幌大通まちづくり株式会社 取締役統括部長 服部 彰治 氏 ●報告:「三原市の中心市街地活性化」 三原市タウンマネージャー 原田 弘子 氏



札幌大通まちづくり会社の成り立ちと現在の取組に ついてご紹介いただきました。

設立当初から直接的なハード事業などは行わず、ソ フトに注力し、段階的、着実な発展をめざしてきたこと や、まちづくりに貢献し、収益を確保する事業を実施 していることをご説明頂くとともに、具体的な事業とし て、札幌大通りまちづくり会社広告事業の展開、共通 駐車券事業、ファシリティマネジメント事業、販促事業 の共同化等について紹介していただきました。



三原市における中心市街地活性化の取組について ご紹介いただきました。

中心市街地活性化の目的を踏まえて、まちづくり三 原の事業の方向性を、まち、まちづくり会社のイメー ジ改善、新たな担い手の発掘、民間投資の促進と設 定し、具体的な事業として、三原の収穫祭、リノベー ション事業の立ち上げに取組んできたことや、最近は 三原の農業に着目して「三原の食プロジェクト」を推 進していることについて紹介して頂きました。

- ■パネルディスカッション:
- 報告を踏まえて寄せられた質問を踏まえて、①まちづくり会社の事業のKPI・ 評価方法、②フリーランスという立場でのタウンマネージャーの地域との関わ り方や地域から信任を獲得する方法、③まちづくり会社としての地域の様々な 主体とのコワーキングのあり方等、4型ましいタウンマネージャーの登用に向 けた行政の取組のあり方、⑤タウンマネージャーの将来像等、様々な論点につ いて考えを語っていただきました。



# 開催レポート(つづき)

●報告:「多様な主体が参画するまちづくりにおける行政の役割」 伊丹市教育委員会生涯学習部参事 兼 図書館長 綾野 昌幸 氏 兼都市活力部参事



伊丹市教育委員会生涯学習部の綾野参事から、伊 丹市における多様な経験を踏まえ、「多様な主体が 参画するまちづくりにおける行政の役割」について、 講義して頂きました。

まちづくりにおける行政の役割については、予算確 保・補助金申請・関係機関調整、PR(市広報紙、マス コミつなぎ)等の側面支援だけでなく、企画提案~実 施に向けた仕掛けに取組むことの重要性をご紹介い ただきました。

また、継続して取り組むために、まちを好き! でいる こと、ユルく楽しく取り組むことの大切さを提起して頂 きました。

#### 座学研修(中級篇第1回)

### 開催レポート

- 駅前を中心とした街の賑わいを作り出すには、地元資源とともに外部からの資金獲得が重要となっています。中心市街地活性化事業等の国の 様々な制度を活用して、新たな施設整備や老朽化した建物をリノベーションして核となる施設を整備し、それを起爆剤として、ハードとソフトを融 合化して経済活性化の効果を生み出している地域が全国にあります。
- 今回の中級編では、中心市街地活性化法に基づき補助金を効果的に活用した4地域の事例をご報告いただくとともに、パネルディスカッションを 通じて今後のまちづくりを考えました。
- 当日のプログラムと概要は、下記の通りです。
- ●講演:【福井市】

「ハピリンができて変わったこと、変わらなかったこと」 まちづくり福井株式会社代表取締役社長 岩崎 正夫 氏

●講演:【日光市】

「中心市街地を日光のゲートタウンに…」 日光商工会議所専務理事 五味渕 一友 氏



中心市街地の活性化に向けて、経済産業省特定民 間中心市街地経済活力向上事業を活用し、商業業 務部分や多目的ホール、住宅部分を含む賑わい交 流施設として「ハピリン」を建設した経緯や、「ハピリ ン」の整備をきっかけにイベント開催などによる地域 連携が進み、周辺商店街の回遊性の向上につな がっていることを紹介していただきました。



中心市街地活性化基本計画に基づき、地元出身 者を記念した演歌ミュージアム「船村徹記念館」 や、道の駅「日光街道ニコニコ本陣」等を整備した こと。特に、道の駅は来店者・売上げとも好調に 推移しており、これによって中心市街地のほう公 社通行量が増加し、空き店舗率も横ばいで推移 していることを紹介していただきました。

### 座学研修(中級篇第1回)

# 開催レポート(つづき)

●講演:【豊田市】

「魅力あるまちの奥行きづくり!子育て世代が立ち寄る場と空間 を創出する」

豊田まちづくり株式会社まちづくり推進部 杉本 恭一 氏



経済産業省や市の助成事業等を活用し、小規模なが ら古民家のコミュニティ複合施設へのリノベーション、 チャレンジショップやレンタルスペース、カフェなどの 空き店舗事業を推進し、一定の成果を収めたことや、 こうした取組を踏まえて利益を新たなまちづくりへ還 元していくために、エリアマネジメントを担う一般社団 法人を設立したことをご紹介していただきました。



「応援の連鎖がまちを変える

~日南市油津商店街の再生からみる地方創生の新しいかたち~」 株式会社油津応援団専務取締役 木藤 亮太 氏



333人の応募があったテナントミックスサポートマ ネージャーに就任し、任期4年間で20店舗の新規 出店というミッションを達成したこと。そのために、 地域課題に即して商店街をデザインし直す発想 で、商業用途にこだわらずIT関連企業のサテライ トオフィスなどの働く場づくりや、Uターンの若者へ の創業支援、保育施設整備などに取り組んだこと を紹介していただきました。

- ●パネルディスカッション:
- ローカルファースト研究所の関幸子代表取締役のコーディネータのもと、 報告者とのパネルディスカッションを開催し、関氏から報告者への質問を 通じて、ハードの必要性や、それを実現するための人材の確保、行政との 連携の重要性などについて、経験を踏まえたコメントを語ってもらいまし た。会場から寄せられた質問に対しても丁寧に答えて頂きました。
- ◇コーディネーター

株式会社ローカルファースト研究所

代表取締役 関 幸子 氏

◇パネリスト

岩崎 正夫 氏(まちづくり福井(株))

五味渕 一友 氏(日光商工会議所)

杉本 恭一 氏(豊田まちづくり(株))

木藤 亮太 氏(㈱油津応援団)





#### 座学研修(中級篇第2回)

### 開催レポート

- 中心市街地活性化法に基づくまちづくり会社、地方創生に向けた地域商社、駅前の商店街振興組合等、地域には地域活性化に取り組む様々な 団体が存在しています。その団体の舵取りをする代表取締役社長や理事長の責務は大きなものがあります。
- 今回の中級編では、地域で活躍するTOP経営者をお招きして、地域資源の捉え方、地域の課題解決の手法、稼げる事業展開、資金獲得、人材 育成に向けた取組などを披露していただくとともに、パネルディスカッションを通じて今後のまちづくり会社、商店街振興組合の運営手法を学びま した。
- 当日のプログラムと概要は、下記の通りです。

#### ●講演:

「わがまちを愛し、誇れるまちづくりを~みんなでつくろう松山のまち~」 加戸 慎太郎 氏(株式会社まちづくり松山 代表取締役社長)

#### ●講演:

「復興から自立へ、石巻の挑戦」 後藤 宗徳 氏(株式会社元気いしのまき 代表取締役社長)



外資系証券会社で勤めた後、松山にUターンし、家業 である株式会社とかげやを継ぐ傍ら、株式会社まち づくり松山の代表取締役社長として取り組んできたま ちづくり会社のあるべき考え方や改革の取組につい て紹介して頂きました。



石巻グランドホテル社長としての東日本大震災後 の震災復興に向けた取組や、中心市街地活性化 の核事業となる生鮮マーケット「げんき石巻」の取 組を紹介していただきました。

### 座学研修(中級篇第2回)

# 開催レポート(つづき)

#### ●講演:

「小さな商店街を小さく変えていくこと」 小松 浩二 氏(沼津あげつち商店街振興組合 理事長)



沼津市で、八百屋から全国で最も若い商店街振興組 合長になり、2017年より一般社団法人 lanescape((レーンスケープ)を組織して取り組んで いる街の遊休地の活用等について紹介して頂きまし た。

#### ●講演:

「東北から始まる未来志向による創造的産業の創出」 島田 昌幸 氏(株式会社ワンテーブル代表取締役)



名取市におけるマルシェ運営や、復興にむけて 新たな雇用と東北の再生モデルの創出を目指し た農林漁業6次産業化モデルファームの取組に ついて紹介して頂きました。

- ●パネルディスカッション:
- ローカルファースト研究所の関幸子代表取締役のコーディネータのもと、 報告者とのパネルディスカッションを開催し、関氏から報告者への質問を 通じて、トップマネジメントからみたまちづくりの課題と取組などについ て、経験を踏まえたコメントを語ってもらいました。会場から寄せられた 質問に対しても丁寧に答えて頂きました。
- ◇コーディネーター

株式会社ローカルファースト研究所

代表取締役 関 幸子 氏

◇パネリスト

加戸 慎太郎 氏(株式会社まちづくり松山 代表取締役社長)

後藤 宗徳 氏(株式会社元気いしのまき 代表取締役社長)

小松 浩二 氏(沼津あげつち商店街振興組合 理事長)

島田 昌幸 氏(株式会社ワンテーブル代表取締役)





# (1)まちづくり人材育成研修 ②次世代会議

#### 次世代会議

### 開催概要

#### ■目的

- 中心市街地などの特定エリアの活性化及び、再生をマネジメントする専門人材としてのタウンマネージャーを育成する。
- まちづくりに従事している人材が、より高度で実践的なまちづくりのスキルや知識などを学び、自らの取り組みを振り返るとともに、ステップアップする機会を提供する。

### ■対象

- タウンマネジメントの実務に従事している方
- まちづくり会社や中心市街地活性化協議会でタウンマネージャーとしての活動が期待される方

### ■カリキュラムの特徴

- タウンマネジメントを体系的に学ぶ。
- 経営戦略の視点からまちづくりを捉え、事業の企画から資金や人材の調達を検討する。
- 多様な人材とのコミュニケーションを体験し、考える。

### ■実施日時・開催場所

- 平成31年2月18日(月)~19日(火)10:00~18:00、9:00~16:00(全15時間程度のプログラム)
- 都内会議室

# 次世代会議

# 開催概要

# ■スケジュール

2月18日(月)	内容	講師
10:00~	開会	
10:10~11:00	(O)導入 ・参加者自己紹介 ・タウンマネージャーの役割と課題	原田
11:00~12:30	(1)組織とコミュニケーション ・まちづくりにおける法人形態 ・モチベーションとリーダーシップ	原田
13:30~16:00	(2)コミュニケーションゲーム	松本
16:30~17:30	(3)タウンマネジメントに係る制度 ・地域活性化3法や立地適正化法、 地方創生の流れ	原田
	・公共空間の活用	服部
17:30~18:00	(共有・振り返り)仕事上の課題共有	原田

2月19日(火)	内容	講師
9:00~12:00	(4)タウンマネジメントにおけるマーケティング ・統計データの活用	土肥
	・タウンマネジメントにおける戦略と マーケティングの基礎	原田
13:00~15:30	(5)事業開発 ・事業開発シミュレーション(ゲーム) ・事業環境と事業、資金調達	原田
15:30~16:00	(6)まとめ	原田

# 次世代会議 講師一覧

### マネジメントオフィスHARADA 代表 原田 弘子(はらだ・ひろこ)

平成17年、中心市街地タウンマネージャーとして広島県呉市 に移住。2年の任期終了後、各地の中心市街地活性化や商店 街活性化を支援。現在、全国タウンマネージャー協会会長も務 める。まちのイメージを改善し、新しい組織や事業の発掘を通 じて自立的なまちづくりに繋げる。地方都市は豊かな自然や歴 史、文化を伝える日本の財産。できるだけ良い形で次の世代 に伝えたい。



### 株式会社事業開発推進機構 代表取締役 土肥 健夫 (どひ・たけお)

セゾン・グループの流通・開発関連のアソシエイト・プランナー を兼務。行政、流通関連業からの委託に基づく計画策定や、 地域活性化、商業・観光関連施設の事業プロデュースを専門 とする。限られた市場規模でも低コストで自立・継続的な運営 可能なソフト事業の確立や、地域ブランドの構築に従事。地域 活性化伝道師、中小企業基盤整備機構中心市街地サポート マネージャー、同中心市街地協議会アドバイザー。



### 札幌大通まちづくり株式会社 取締役統括部長 服部 彰治(はっとり・しょうじ)

世田谷区瀬田で育ち、大学から北海道に。北海道東海大学芸 術工学部建築学科(旭川校舎)出身。経済産業省タウンプロ デューサー、地域活性化伝道師、一般社団法人エリア・イノ ベーション・アライアンス理事、NPO法人北海道冒険芸術出版 理事、NPO法人札幌オオドオリ大学理事、green bird札幌 チームリーダー(平成25年6月現在)



### アナログゲーム療育アドバイザー 松本 太一(まつもと・たいち)

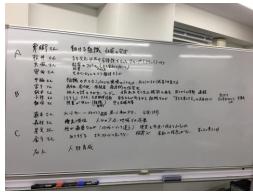
東京学芸大学大学院教育学研究科障害児教育専攻卒業。教 育学修士。在学中は自閉症児療育の「太田ステージ」開発者 である太田昌孝の指導のもと、東大付属病院や通級指導教室 でソーシャル・スキル・トレーニングの実践研究を行う。卒業後 は、福祉団体や人材紹介会社で成人発達障害者の就労支援 に携わる。その後、放課後等デイサービスの大手FCチェーン に就職。入社後3ヶ月で本部教室の副教室長として抜擢され、 発達障害児の療育プログラムの作成に携わる。2015年6月に 独立。現在はフリーランスの療育アドバイザーとして、「アナロ グゲーム療育」の普及・啓発と療育機関の専門性向上のため のコンサルティングを行っている。

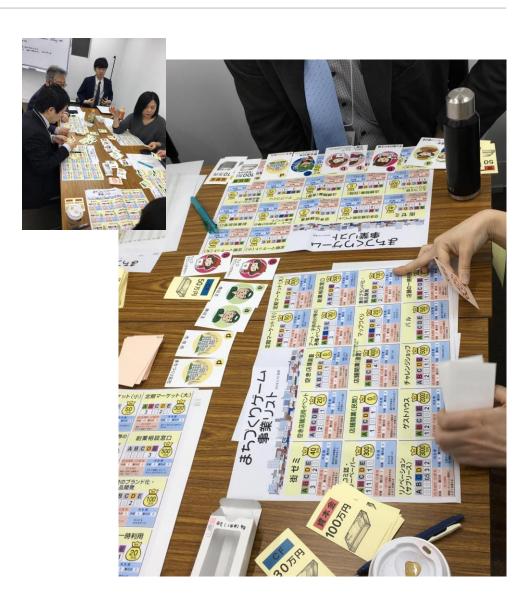


### 次世代会議

# 開催概要







### 次世代会議(参考になったこと、今後実践したいこと)

# 1. 組織とコミュニケーション(法人形態、モチベーションとリーダーシップ等)

### (参考になったこと)

- インセンティブの話のところが、一番参考になった。
- 我々のエリアでは、ヒエラルキーの中で自分が一番と思い、自分の思い だけで突っ走る方が多いと感じていたので、アメーバ的な組織の中でも、 誰が何のために動くのかを見抜くのかが重要であると理解した。そうする ことで、動ける組織、引いては能動的な街になっていくと感じた。
- 自分が組織に関して現状思っている課題は、まちなかでいくつか活動し ている組織があるが、長く続けていくうちにモチベーションが下がってい き、気づくとまちづくり会社が主体となっていることが多いということです。 しかし、講義を聞いて思ったことは、「意欲に応じた参加の仕方がある」と いうことです。今は、やれる人にはある程度平等に役割分担をして続けて いますが、やはり途中で難しくなったりしてしまいます。
- そこでそれぞれの現状やモチベーションに応じて高い人には大きなことを お任せし、そうでない方にはまた別の役割をお願いする。このようにバラ ンスよくコーディネートすることで、グループに参加している人たちの主体 性が生まれてくると思いました。
- 中心市街地活性化協議会や、まちづくり会社は全国、画一的に存在して いるが、各地域の現場では、人間関係によって一筋縄ではいかない多種 多様な課題に直面することがある。その場合、共通目的を持った人を繋 ぎ動きやすい組織をつくったり、インセンティブを仕掛けることも手段の一 つであることを学んだ。また、アメーバー的、まちを円と考える…等、難し い人間関係を図解を交えてわかりやすく表現してくれたことにも感心しま した。
- まちづくりに係る一連の組織体、まちづくり会社、またその役割、現場の 実態を概観として、学ぶことができた。
- また、まちづくりとして目下、向き合っている事象に対し、学術的にもアプ ローチがあり参考となった。

### (今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- 参考になったことと同じだが、誰が何のために動くのかを見抜き、 理解して、人を動かす、ことを今後の事業を考える上で取り入れて いきたいと思った。
- また自分の職歴などをもう少し活かしながら、ひとを巻き込み動け る事業を実施したいと感じた。
- 会に参加している一人一人の状態を見極め、その時々に合わせた 役割を考える。
- 私自身、人の得意・不得意を見極めるのが得意なことから、今まで 無意識・直感的に、人を誘って、まちの活動に繋げる取り組みをし てきた。 しかし、これからは、「どの欲求を満たしたいのか」「共通 目的は何か「意欲はどの程度か」など言語化できるようにして、更 に極めていきたい。
- 今後、事業に取り組む中で、権力争いの板挟みになったり、許せな い人が現れたとしても、人間ではなくピクトグラムだと脳内で変換す れば、乗り越えられそうな気がします。
- ■「まちづくり会社の役割」を現場で共有する→事業の振り起こしや 支援(民間投資の促進)など
- ■「まちづくりの現場」、「旧来の組織」の図は、可視化されることで意 識が出来、その上で続く「動ける組織をつくる」ことを志向したい。

#### 次世代会議(参考になったこと、今後実践したいこと)

### 2. コミュニケーションゲーム

### (参考になったこと)

- 相手がどんな情報を望んでいるのか、どういった情報を与えれば理解してくれる のかを考えさせられた。認知特性が人によって様々な場合に、誰に何を言えば いいのか、を考えるいい機会になった。また相手の情報の意図を読み取るところ も参考になった。
- またチームの中で自分がどういった役割で、自分を活かし方、相手の動かし方、 自分が気づかなかった部分を相手から指摘され気づく、反対もあり意見をすり合 わせる、などチームプレイを学べた。
- 「ハナビ」に関しては、まず難しいと思ったのは、何を伝えるのかということ。限定 的な情報のみでどれだけ相手に情報を伝えることができるかしつかり見直すきつ かけとなった。
- 「禁断の島」は、先の講義で感じたことと似ているが、役割分担をしっかり考える ことがだいじであると感じた。自分だけでは何ともならないので、どのようにすれ ば課題がクリアできるのか。誰に頼めば解決できるのか。常にどんな人が何を 持っているのかを意識しておくことで何かあった際にすぐに動けるようにしてお
- 「禁断の島」というゲームは、まちづくりでの事業の縮図だと感じました。はじめ に、理解できていない部分はないか探り、全体方針はなにか決めること。ゲーム 中盤では、目標や優先順位を再確認すること、自分がやった方がいいことか、他 人に任せることか見極めること。現場で事業を進めていくなかで、近視眼的にな ることも多いので、今回のゲームを思い出して俯瞰した視点に立ち戻れるように していきたい。
- 合意形成の難しさ、そしてそれは、やり方次第で解きほぐすことができるというこ
- 同じゲーム(広義として捉えるならば、それはあらゆる人間関係における人為的 な営みに通じると思う)でも、対峙する人間と勝ち負けを競う他に、協力し合い、 お互いの勝利(喜び)を目指すことがあるという、至極当たり前であるはずのこと を、別の側面(カードゲーム、ボードゲーム)から照らすことで、改めて気づかさ れた。これは、今回の学びの中でも大きい。
- ボードゲームという、こどもからでも楽しめるツールがコミュニケーションを暖め る、かつ様々な利害関係者間のコミュニケーションを解きほぐすために有効であ ること、また、リアルの人間関係において示唆を与えられるものでもあること。

### (今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- まず、このゲームを自社でしたいと感じた。
- 相手への伝え方、伝える情報をしっかり選別しコミュニケーションを 取ることは今後の実践に活かしたいと感じた。
- 今までまちなかの会議で話し合う際できる限り自分が喋り過ぎない ように、活発な議論の場になるよう発言を促してきたが、相互に話 ができるこのゲームのような形だと、今まで思いもよらなかったアイ ディアが生まれるような気がします。
- 本事業では、柔軟に立ち回りコミュニケーションが取れる能力があ る参加者が多かったものの、組織や役職に関わらず発言・行動で きるゲームは、短時間で人の適性を見分けることのできる最善の 手段だと感じました。現場で事業の始めには、カードゲームを取り 入れたワークショップ等を取り入れていきたいです。
- 利害関係者間のコミュニケーションを解きほぐすことは、今後のま ちづくりの会議、ミーティングにおいて、アイスブレイキング的に有 意義に使用できると実感している。
- 早速、当商店街出資のまちづくり会社の社長でもある理事長に、 本件を相談した。目下進んでいる再開発に伴う、関係者間の各種 会合でブレイクスルーする一助として、この研修のようにコミュニ ケーションゲームを用いた研修を提案した。

#### 次世代会議(参考になったこと、今後実践したいこと)

### 3. タウンマネジメントに係る制度(関連法(地域活性化三法等)や公共空間の活用)

### (参考になったこと)

- 制度、法律を知れた。またどういう経緯で今の制度、法律になった のかを理解できた。
- まちづくりを仕事とする者にとって知っておかなければならないこと を知ることができた。ただ、今回の講義で聞かせていただいただけ では覚えきれない部分がある為、改めて学ぶきっかけになった。
- 現場でまちの人たちと関わる中で、知っておくと伝えられることも増 える。
- 法制度については勉強不足の分野であった為、要点をまとめてく れていて助かりました。
- また、法制度については、補助金に関わってくる程度の認識でしか。 なかったが、しっかりよみこむことで、効果測定の説得材料として 使えたり、法制度が規制緩和され事業が進めやすくなっていたりす ることがあるので、定期的に確認する必要性を感じました。
- まちづくりでは「賑わい」「歩いて楽しい」という曖昧な表現を使うこ とが多いが、時速や人口密度といった尺度で表現する必要性を感 じました。
- まちづくり環境における、各種法制度や研究をレクチャーいただ き、概観として体系的に学ぶことができた。
- 公共空間の活用の講義では、意外と当該省庁のガイドラインで は、これまで規制されていたことが緩和されていたりするので、日 頃チェックすること、読み込んでみることが大切であると実感した。
- 歩道の拡張による効果と公共空間という概念につき、参考になっ た。「遅い交通」という考え方。本邦にも、公共空間という考え方が 江戸時代に既にあったという気づき

### (今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- まず、現在の法律、制度、仕組みを改めて理解し、自分の言葉で 人に伝えられるようにしたい。
- 併せて、制度などを活用した取り組み、補助金などを調べて事業 展開できるものを選別し事業として取り組んでいきたい。
- 自分自身の向上の為、勉強をします。
- 法制度も、しっかり読み込むと効果測定や新規事業立案の際に、 有利な材料になることがわかった為、 勉強していきたい。
- 公共交通的観点からの「賑わい」「安心安全」なまちづくりとは何か 勉強していきたい。
- 何か事業を企てた時に、それに関する規制はないか、反対に現状 で緩和されていたりしないかということを直接、関係省庁の資料を 入手し、読み込んでみること
- 資料、法律、先行研究などの情報に接し、日々、アップデートして いくこと

### 次世代会議(参考になったこと、今後実践したいこと)

## 4. タウンマネジメントにおけるマーケティング(統計データの活用、戦略とマーケティング)

### (参考になったこと)

- 地図で見る統計を使えるようになったこと。
- どこにどういった人口が居て、どんな動きをしているかを理解して、事業展開して いく必要があるのを改めて再確認できた。
- 現場の肌感覚だけでは知り得ない、統計データを活用する必要があると感じた。
- 例えば、近隣でお店を出したいなどの相談を受けた際に、統計情報が頭に入っ ているだけで、提供できる情報の質があがる。
- 土肥さんのデータを見る観点、地図で見る統計の紹介は、非常に参考になり、す ぐに自分の地域でも実践できることが多かった。
- 特に、「地図で見る統計」は、このような充実したデータが無償で公表されている ことに驚きで、知っていると知らないとではまったく効率が違うため、非常に有益 な場となった。
- 原田さんの三原市での実践のお話は、自身がタウンマネージャー1年目のた め、非常に参考になった。「タウンマネージャーがやりたいことができるのは2年 目から」という言葉は、まさに自分が悩んで模索していることであり、勇気をもらっ た。
- また、三原市でも、やりたいこととできることの間で試行錯誤している様子がわか り、手探りでやってきたこの1年間に自信が持てた。
- 統計データの活用は勉強不足の分野であった為、大変勉強になりました。要点 をまとめて最低限の話をしてくれたものの、自分の地域ではなく、モデル地域を 例に練習問題を解く時間を設けるなど、もう少し実践の時間を多く欲しかった。
- マーケティングを行う上で、かなり有益なツールが無料で提供されていること。ま た、それを活用して得られるデータの、当該地域における有効性
- 分析における考え方や観点(人口区分、距離圏~500m圏など)
- まちづくり会社の事業ドメインの組み立て方、事業戦略や外部・内部環境との位 置づけなど、原田さんの広島での事例にも即して説明いただき、腑に落ちた。

### (今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- 今実施している事業、またはこれから行おうとしている事業の可能 性の裏付けとしてこういったデータ・情報を活かしたい。
- 今まで肌感覚で思っていた情報を、統計データと照らし合わせて、 真実の情報にアップデートする。
- ■「地図で見る統計」を活用しての、地元の現況分析はすぐ実践した L1°
- タウンマネージャーとして1年が経ち、2年目以降のまちづくり会社 のあり方・戦略を改めて構築していこうと思った。
- 統計データの活用は、勉強不足であった為、今後勉強していきた い。
- 早速、「地図で見る統計」を活用し始めた。
- 事業計画の落とし込み方について、まちづくり会社の社長にも報告 し、意見交換を行った。

### 次世代会議(参考になったこと、今後実践したいこと)

## 5. 事業開発(事業開発シミュレーション ゲーム)

### (参考になったこと)

- 地域資源を活用しながらどういったことができるのか、また成功し た先、失敗した先に次にどんな事をしていかないといけないのか、 を考えるいい機会でした。
- ゲームの中で、街、または会社の目標に向けて進めていくプロセス と必要な資源の確保など、実際のまちづくりと同様に考えられた。
- 限られた資源を使い、限られた人材で、事業・企画を行う。当たり 前のことではあるが、やってみたい事とその時の手札(まちの状 況)とのジレンマがそのまま、まちに当てはまると感じた。
- 事業を起こしてもなかなか増えない資金にリアルを感じた。まちづ くりはなかなか儲からない。
- 事業開発を行う研修は多くあるが、ここまで制限を設けた(与えら れた手札と運の中で組み立てる)研修は、難しくも面白かった。
- 俯瞰的に正論を述べる専門家も多くいますが、現場で試行錯誤し て実践してきた方の深みを感じました。
- 前の時間で座学で学んだことを、実際の自身のまちで事業計画を 作るシミュレーションしてみることで、立体的に学ぶことができた。
- また、自分でアウトプットすることで、より身についたように思う。
- コミュニケーションゲームの講義にも準じて、前段でカードゲームを 使いながら楽しくシミュレーションすることができた。このゲームでも 学びがあり、ヒト・モノ・カネが必ずしもタイミングが揃う訳ではない こと、揃ったもののなかでこのタイミングで何を行うか(まさにカード を切る)、そして、この事業によって、まちでは何が起こるかといっ た点において、いくつかの示唆を得られた。

### (今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- 自分のエリアを「○○なエリアにする」という目標を改めて確認、共 有し、エリアにはどんな資源があり、誰とどうしていくのかを改めて 整理したい。
- 今街では様々なまちづくりのアクションが起きているが、バラバラに 思えるものを再度整理し、次の展開または既存の事業の拡大を図 りたい。
- 事業を行おうと思う時に、資金だけでなく協力者がどれだけいるか 思い浮かべて、実現・持続可能かを判断する。
- 現場でも、今回のゲームのように、今ある手札は何か、 達成した いゴールに向けて、どのように戦略的に事業を仕掛けていくのか 俯瞰して考えながら進めていきたい。
- 自身のまちの中活や行政のまちづくり資料を読み込み、トレンドを 探ること
- 闇雲に、事業を行うのではなく、今置かれている現状、また、向か いたい将来のまちのあり方(まちづくり会社の事業理念)の中で何 を優先していくか、何を行わないのかという観点でものごとを考え ていきたい。

(1)まちづくり人材育成研修 ③実地研修

## インターンシップ型実地研修の実施

- ■インターンシップ型実地研修の特徴
  - まちづくりの先進地域において、経験豊富なタウンプロデューサーの指導のもと、 現場の実務・体験を通して、実践的なまちづくりの考え方や手法を少人数でじっくり学ぶことができる。

### ■インターンシップ型実地研修の実施概要

日程		受入地域	受入機関及び研修講師	参加人数
10月29日(月)- 10月31日(水)	2泊3日	長野県 飯田市	"身の丈再開発"と"利用と所有の分離" 株式会社飯田まちづくりカンパニー 取締役事業部長 三石 秀樹 氏	4名
11月13日(火)- 11月15日(木)	2泊3日	兵庫県 明石市	"中心市街地活性化·中核事業の組み立て方、収益改善法" 株式会社事業開発推進機構 代表取締役 土肥 健夫 氏	5名

## インターンシップ型実地研修の実施

- ■インターンシップ型実地研修の受講者の特徴
  - 参加者は9名(飯田市4名、明石市5名)
  - 所属はまちづくり会社6名、市役所1名、企業1名、フリーランス1名であった。
  - このうち企業からの参加者は、退職後の選択肢のひとつとして、地元でまちづくりに取り組むことを考えている方、フリーランスの参加者は大学で都市計画を学んだことを機にまちづくりに関心をもった方であった。

# インターンシップ型実地研修 実施結果(飯田市)

### プログラム

日程	時間	内容
	11:30-13:00	集合、昼食、自己紹介
1日目	13:00-16:30	関係者紹介 飯田まちづくりカンパニーの活動内容レクチャー りんご並木エコハウス視察 街中視察
	16:30-17:15	飯田市の公民館活動について
	17:15-18:00	建物管理業務の説明
	18:00-	交流会
	9:30-10:30	並木横丁いこいこ事業スキームの説明
	10:30-12:00	おひさま進歩エネルギーの取組について
2日目	13:00-16:20	りんご並木まちづくりネットワークの活動について いいだウェーブの活動について いいだウェーブの活動支援について 区分所有管理組合の業務について
	16:30-17:15	中活計画及び官民協働について
	17:15-18:00	川本人形美術館見学
	9:30-10:15	飯田商工会議所の取組
	10:15-11:00	NPOイデア、五平もち楽会、国際りんご・シードル振興会の 活動について
3日目	11:00-12:00	(一)空き家人情プロジェクトの取組
	13:00-15:00	NPO国際りんご・シードル振興会の取組 最終レクチャー とりまとめのディスカッション

### 参加者コメント

- 飯田まちづくりカンパニーは活動領域を不動産業に絞り、他組織とともに イベントや活性化策を陰で支える立場をとる(黒子)。まちづくり会社の資 源が有限である以上、多くの住民(他地域の人間)を巻き込んでいくため にその姿勢はとても重要であり、今後私の地域に合った形で、大いに参考 にしていきたい。
- まちづくり会社責任者としてのあり方、各種事業の推進、自己意識の改革 といった弊社として直面する問題に対する内容が多々あり非常に有意義 でした。また身近にある問題に対しての解決の糸口がつかめたことも良 かったと思います。
- 参加者同士のディスカッションの時間が欲しかったです。昼食等のわずか な時間で情報交換はできますが、もっとじっくりとお互いの考え方や実行し ている事柄などを詳しく議論できる場があればさらに良い研修になると感 じます。
- 失敗事例も聞いてみたかった。

### 受入先コメント

- 日程の都合もあり3日間の中に通常4日分のプログラムを盛り込んだた め、時間が短くなったものもあった。飯田は色んな取組が進められている ため、じっくりと学んでほしい。
- 要望を受けてフォローアップを行いたい。

### 事務局コメント

- 自ら手がける再開発だけでなく、りんご並木まちづくりネットワークやいい だウェーブなどとの連携によるイベント開催など、様々な取組をご紹介頂 いた。地域とのつながりの中でまちづくり会社が果たせる役割の可能性を 考え直す機会になったと考えられる。
- 講師の日程から、通常4日分の研修を3日間で実施したこともあり、講義時 間の確保、参加者同士のディスカッション時間の確保などの面で課題が あった。

# インターンシップ型実地研修 実施結果(飯田市)







# インターンシップ型実地研修 実施結果(明石市)

### プログラム

日程	時間	内容
	11:30 - 13:00	JR明石駅集合 ランチ・ミーティング(自己紹介、問題意識発表)
	13:00 - 13:30	都市・明石市の概要(定量データ等に基づく説明)
	13:30 - 14:00	明石市の中活計画のポイント
1日目	14:00 - 14:10	中心市街地視察のポイント
	14:10 - 16:00	中心市街地視察
	16:00 - 18:00	中核事業の説明① ・再開発事業 ・商店街活性化事業
	18:30 -	交流会
2日目	9:30 - 12:00	中核事業の説明② ・アスピア明石梃子入れ ・まち会社の考え方 ・民間専門業者の考え方 ・地元主導型連携の在り方
	13:00 - 18:00	共同作業・参加者間意見交換 ・明石市で学んだこと ・明石市への提言 ・自分達の都市での応用
	18:30 -	交流会
	9:30 - 11:30	ワークショップを活用した取りまとめ ・明石市への提言、地域からの質疑、未来の中活の在り方
3日目	11:30 - 13:00	地元を含むビジネス・ランチ
	13:00	解散

### 参加者コメント

- 様々な方からの説明を聞くことができたことと併せて、実際に現地視察を することで理解がより深まった。
- まちづくり会社として抱える問題を、行政に頼らず民間の専門機関と連携 し、徹底したマーケティングで経営をスマートに合理化した際の、苦労が伝 わってきて、興味深い内容だった。
- 他市のケースを学びながら、当市でも出来ることは無いかを考えることだけではなく、これらを「先頭に立って実行するひと」が必要であることを再度認識しました。
- 最終日の提言に向けた参加者同士の議論はお互いの考えが分かり良かった。

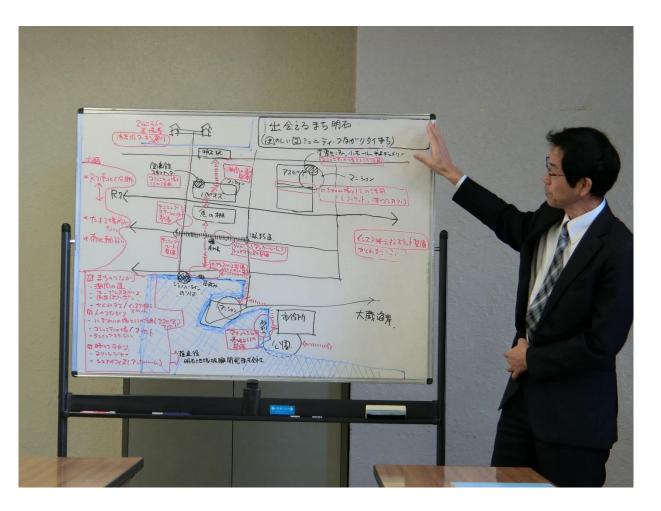
### 受入先(コーディネーター)コメント

- アスピア明石については、専門家と連携した事業スキーム(プロパティマネジメント方式)の学習を通じて、事業の組み立てを改めて考える機会を提供した。
- 圧倒的なリーダーシップで商店街を変えた安原理事長の話を聞くことによって、商店街変革の条件を考える機会を提供した。
- まちづくり会社研修生から要望があればフォローアップを行いたい。

### 事務局コメント

- まちづくり会社による再開発事業、商店街の再生について、まちづくりの変革を進める新しいモデルを学ぶ機会を提供できた。
- 企業従事者に、退職後の選択肢としてのまちづくり体験の場を提供できた。
- ワークショップ方式による明石市への提案の評価が高かった。研修生が 主体的に取り組む機会を提供することの有用性を確認できた。

# インターンシップ型実地研修 実施結果(明石市)







# フォローアップ研修の実施

### ■フォローアップ研修のねらい

- 受講者による地域の取組の具体化をねらいとして、研修受講生の地域に講師が訪問し、 課題解決を図りつつ、当該地域に関わる人材の育成を図る伴走型の研修である。
- 受講生が地域に戻ってからの研修成果の関係者との共有、課題解決に向けたアクションを 推進するための機会提供の支援方策として実施した。

#### ■フォローアップ研修の実施概要

● 今年度は、明石市の研修に参加した研修生の地元兵庫県豊岡市において実施した。

日程	実施地域	研修講師	主な内容
3月4日(日) -5日(月)	兵庫県豊岡市	株式会社事業開発 推進機構 代表取締役 土肥 健夫 氏	<ul> <li>【1日目】13:40-</li> <li>・カバンストリート視察、カバン関係者へのヒアリング</li> <li>・関係者とのミーティング(豊岡市役所 3階3-1 会議室) ※地元が抱える問題点の把握</li> <li>・ミーティング終了</li> <li>・懇親会</li> <li>【2日目】9:30-13:30</li> <li>・勉強会(宵田いっぷく堂) ※土肥氏からプレゼンを踏まえた意見交換</li> <li>・勉強会終了後、視察・関係者ヒアリング</li> <li>・修了</li> </ul>

# フォローアップ研修の実施

対象地域	兵庫県豊岡市
成果	<ul> <li>対象地域は、豊岡鞄というブランドを活かした商店街振興に取り組む地域であり、既に一定の成果はあがっているが、今後の展開のあり方に悩みを抱えていた。</li> <li>今回の研修の勉強会をきっかけにして、土肥氏を講師に迎えて、国際標準のもとでの豊岡市、カバンストリートの今後のあり方を考える勉強会を継続して開催することが決まった。</li> <li>研修生から、「カバンストリートの未来について、私自身も非常に熱い思いが湧き上がっております。今回の研修で、街の人たちとの距離感が随分近くなり、協議会を作るのか、どのような具体的な取組をおこなうか、まだ検討していく事ですが、何か方向性が見えたような気がします。」という声があり、研修生のマインドセット、地元を巻き込んだ機運醸成のよい機会になったと考えられる。</li> </ul>
課題	<ul> <li>今後の取組に向けた場は形成されつつあるので、それを活かしていくことが重要</li> <li>参加者全員の声を引き出す場づくり(発言者が一部に偏りがちな面がある)。</li> </ul>
今後のフォ ローアップ研 修実施への 示唆	<ul> <li>一方的に最初から講義をおこなうのではなく、最初に現地を 見て、関係者の声をしっかりきくことが有意義だった。</li> <li>こうしたプロセスを踏んで、講師から「国際標準」をめざすべ きという問題提起を行ったことが次の展開につながるきっか けにつながったと考えられる。</li> </ul>





# 特定テーマ型実地研修の実施

- 特定テーマ型研修のねらい
  - まちづくりの先進地域において、取組を牽引するまちづくりリーダー等のもと、現地視察等を通じ、取組の内容やノウハウを習得する。
- 特定テーマ型実地研修の実施概要

日程	受入地域 開催場所	テーマ/受入機関及び研修講師	参加人数
10月6日(土)— 10月7日(日)	新潟県 新潟市	「古くて新しいまちの再生 〜新潟市沼垂のエリアリノベーションの取組に学ぶ〜」 沼垂テラス商店街代表取締役 田村 寛 氏 沼垂テラス商店街専務取締役・店舗統括マネージャー 高岡 はつえ 氏	17名
11月10日(土)— 11月11日(日)	福島県 会津若松市	「歴史文化資源と地域の人材を活かしたまちづくり」 まちとひと 感動のデザイン研究所 代表 藤田 とし子 氏 岡崎まちゼミの会 代表・株式会社まちづくり岡崎 代表取締役 松井 洋一郎 氏 株式会社まちづくり会津コーディネーター 稲村 久美 氏	応募5名+地元4名 (1名直前キャンセル)
2月1日(金)- 2月3日(日)	兵庫県 姫路市	駅西地区を対象にしたリノベーション(空き地、空き店舗など)	20名
2月8日(金)— 2月10日(日)	広島県 呉市	公共空間(道路、河川、公園)の活用と既存施設のリノベーション	12名 (オブザーバー3名)
3月4日(月)一 3月6日(水)	青森県 八戸市	移動建築コンテナを使った空き地の活用	9名 (オブザーバー1名)

# 特定テーマ型実地研修の研修プログラム 新潟市沼垂テラス

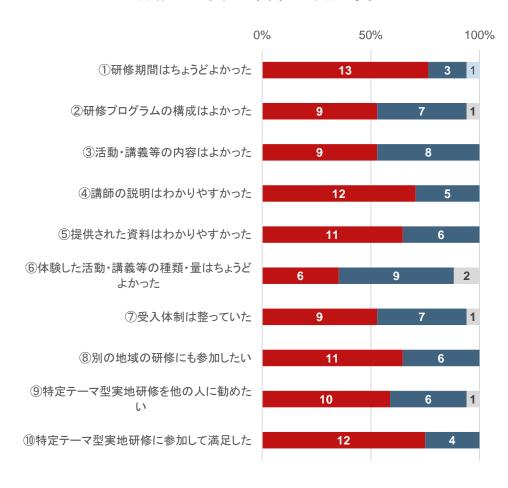
	日時	内容
1日目	13:00	■集合 ■オリエンテーション
	13:15-14:45	■講義「沼垂テラス商店街の整備・運営について」 ・プレゼンテーション ・質疑応答・ディスカッション
	14:50-16:00	■現地体験「テラス商店街・サテライト」探訪 ・テラス商店街 ・サテライト店(BOOKS f3、ゲストハウスなり、KADO shoe repair & beer stop)
	16:30-18:00	■体験学習:「醸造文化に着目した地域プロモーション」 ・峰村醸造・今代司酒造・沼垂ビール見学・質疑
	18:00-18:15	■「朝市」体験に向けたオリエンテーション ・開催4年目を迎えた「朝市」の説明 ・当日の集合時間、役割等の確認 ・質疑
	18:15-	■解散・チェックイン ※希望者は、ゲストハウス「なり」に宿泊し、リノベーションによるサ テライト店を体験
	18:30-	■懇親会(自由参加、会費制)
2日目	7:00-12:00	■沼垂テラス「朝市」開催体験 (イベント準備・運営支援・イベントサポーター体験)
	13:30-14:30	■振り返り・意見交換 ・改めて聞いてみたいこと ・感じたこと、学んだこと ・沼垂への提案 等
	14:40-15:00	■修了式 アンケート記入後、終了





# 特定テーマ型実地研修の評価・感想 新潟市沼垂テラス

### 研修に対する評価・満足度



- 1. 非常にそう思う
- ■2. まあそう思う
- ■3. どちらでもない
- ■4. あまりそう思わない ■5. 全くそう思わない

### 特によかった点

- 朝市に参加したことで各テナントさんや、ボランティアさんと直接話すこと、交流す ることができたこと。実際にまちを歩いて距離感を含めて体感できたこと。
- 実際にまちづくりにかかわっている人の生の声を聞くことができた。
- 現場を見学できたこと。現場の人と実際に出会うことができた。朝市の現場のス タートから終了まで見学できたこと。
- 朝市体験は現場の方から得られる情報が多くてよかった。
- 受け入れてくださったテラスオフィス様のコミット。時間を割いてくださったこと。地 元の方々やオーナー様の話を自由に聞くことができ勉強になった。
- ボランティアスタッフとして、実地研修を行うことで常設店主からいろいろな意見、 現状を教えていただきました。講師側でない現実のリアルな声を聞けたのがよ かったです。
- 実際の取組を行っている方からの話が聞けて、またストーリー性があり、わかり やすかった。その後日にイベント運営側として体験することで商店街を取り巻く環 境、人々などの背景を探ることができ、より深く商店街について学ぶことができ た。
- 実際にスタッフとして働くことで、スタッフの方々や沼垂のまちの人たちの雰囲気 がわかり、非常に勉強になった。
- 受け入れ側の自由度がとても高いと感じたので、沼垂テラスだけでなく地域とし ての沼垂を感じることができた。あと成功している要因は「人」であることがよくわ かった。
- 成長途中でよい点と課題が見えること。そこから自身のことに振り返られたこと。
- 商店街の地域性から深く説明してくださり、沼垂テラスの経緯や考え方を詳しく聞 くことができた。また、商店街の店主の方々と話すことができる機会が多くあり、 様々な話を聞くことができた。
- 実研修で朝市サポーターの体験が非常によかったです。台風で余裕ができたこ とで、現地の店主やサポーターにゆっくりお話を聞けたことがとても貴重だった。
- 一つ一つのセッションのテンポがよく、飽きることなく進行していただいたことがよ かった。
- 実際のお店の方と話せ、様子を知ることができたこと。朝市の体験。
- 現地で直接はなしを聞くことができ、生の声(商店主、来街者、スタッフ)が聞け、 五感で体験、学習することができた。
- 商店街としてどのように再生してきたか、具体的な内容が理解できた。

## 特定テーマ型実地研修の評価・感想 新潟市沼垂テラス

### 特に改善すべきこと

- ・ 市やお店を楽しむことができたのは大変満足だが、空き時間が長かった(2 日目の11:00-13:30ぐらい)。
- 悪天候で市のお手伝いを予定通りにできなかったため、有意義な時間をす ごすことができたどうか。予定通りにするなどの工夫を。
- 今回のように、天候で計画されていた内容が変更になる場合のバックアッ プ的な内容も検討をお願いします。
- 時間に余裕ができた場合は臨機応変に時間短縮していいかと思った。懇親 会費がもう少し安いとありがたい。
- 振り返りの時間を多くとって欲しかった。できれば半日程度に。
- ディスカッションは時間制約とファシリの方に大きく左右されるので、あまり コンテンツを入れなくてもよいのではないでしょうか。あくまで自分自身の地 域に活かすということにフォーカスしてもよかったと思います。懇親会は地 域の方々と設定していただけると、より意味のある場になったと思います。
- 悪天候で期待した状況にならなかったことが残念。最後のワークショップは 時間的には冗長にならなくてよいが、もうひとほりできる内容と考える。
- 骨が最初はよいですが・・・
- ①講師の選定で成功したといわれる人ばかりでなく、現在取り組み中の人 も呼んで欲しい。②現地集合型(現場訪問型)では、今回の新潟市のように 交通が利便なところがありがたいです。
- 多めに参加費をもらい、商品券として使ってもらい、体験を勧めるというよう な商売っ気があってもよいのでは? 表彰状、個人的には不要です。ぺら1 枚でもよいのでは。
- 研修に来ている人々の商店街の利用度が低い?
- すばらしいプログラム内容だったと思う。まちづくりを学ぶカリキュラムとして 今後も活用したい。

### その他

- 今回のように、ひとつの商店街を対象として研修を実施することは大変興味 深いものでした。座学もいいのですが、このようにどこか1箇所をフューチャー することは面白い企画になると思います。
- 高岡さんの実感も含めたご意見や体験を現地でお聞きできてよかったです。 とても絵になる街で、こんな光景あふれるところを目指したいです。
- まちに対する思いが非常に大きいと言うことはとても伝わりました。もう少し 苦労話や「夢や希望」とは逆の現実にある問題、資金の話、クレームなどの お話もあるとよかったと思います。
- 研修効果についての可視化が必要と感じている。修了証の交付以外で対外 的に示せるものがあるとよいのではないか。
- 経済産業所の皆様には大変お世話になってます。本誌の若いまちづくり関 係者が学ぶ非常にいい機会でした。これからも活用したいと思います。
- お疲れ様でした。
- 貴重な機会をありがとうございました。

### 事務局コメント

- 話題の取組事例ということで多数の受講生が参加した。多くのまちづくり関係者 が関心をもち、話題となっている事例をとりあげることの有効性を確認できた。
- 受入先の協力で、内容、雰囲気ともたいへん充実した良い研修だったが、台風 の影響でプログラムが一部変更となった。ゆとりがあって有効だったという評価 もある一方で、こうした際の柔軟な対応を指摘する声もあり、今後の運営に活 かす必要がある。

50

# 特定テーマ型実地研修の研修プログラム 会津若松市

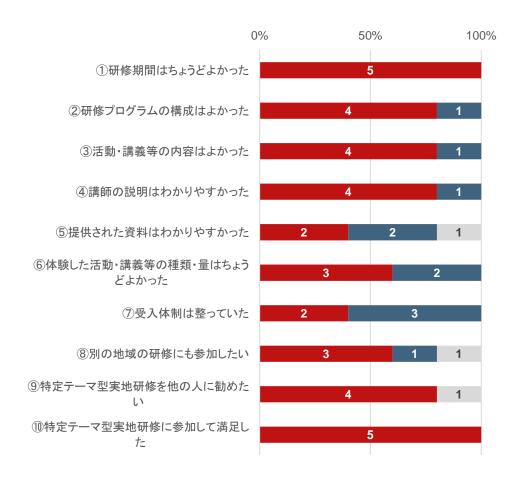
	日時	内容
1日目	13:00	<ul><li>■集合</li><li>■オリエンテーション</li></ul>
	13:10-14:15	■会津若松市におけるまちづくりの紹介 ・渋川恵男商工会議所会頭「会津若松市におけるまちづくりの沿革と現下の課題」 ・会津若松市「中心市街地活性化の取組」
	14:15-15:45	■藤田とし子氏講義 「『まち歩きMAPプロジェクト』を起点とした新たなまちづくりの展開」 ・質疑応答・ディスカッション
	15:45-17:30	■現地視察:本町商店街等 by稲村氏 ・まちの特徴 ・活性化に向けた取組
	17:30-18:00	■振り返り・意見交換 by藤田氏、松井氏、稲村氏・質疑応答、ディスカッション
	18:00-	■解散・チェックイン
	18:30-	■懇親会(自由参加、会費制)
2日目	9:00-10:30	■松井洋一郎氏講義 「まちゼミによる商店街の魅力づくり」
	10:45-11:45	■振り返り・意見交換 by松井氏、稲村氏 ・改めて聞いてみたいこと ・感じたこと、学んだこと ・会津若松への提案 等
	11:45-12:00	■修了式 アンケート記入後、終了





# 特定テーマ型実地研修の評価・感想 会津若松市

### 研修に対する評価・満足度



- 1. 非常にそう思う
- ■2. まあそう思う
- ■3. どちらでもない
- ■4. あまりそう思わない ■5. 全くそう思わない

### 特によかった点

- 各先生方の実体験を通じてお話をして頂いたので、"仕組み""成果"だけでな く、上手くいくまでの"プロセス""巻き込み方"についてきも知ることができ、勉強 になった。また、活性化は必要?、どうなること?等の本質についてもあらため て考え直す機会となり、今まであたり前として話していた部分で意外なすれちが いや、理解不足をうめることの重要性を感じた。
- 実践者の方々の声が聞けたこと/全国のまちづくりの先駆者の発言による気 づきが得られること/時代の先、未来を考えるベース、知識を得られたこと/ マーケティングは商店街のおじいちゃん、おばあちゃんにとっても必要なこと
- 実践者、体験者、現場を知っている方々のお話は気づきが多く、芯に響いた。 「主体性を持った持続できる活動」「イメージで人は動く」等、キーワードが見つ かった。考え方のベースとなる学びとなりました。また、受けたいです。
- 何回きいても藤田先生は面白かった。会頭の話もおもしろかった。

### 特に改善すべきこと

なし

### その他

- 不勉強で、調べたい!!と思いながら聞くことが多かったので、持ち帰ってみて棚 卸をします。
- この研修に参加させていただいて本当によかったと思っています。「今自分が やるべきこと」をミックスして、トータルで活かせていければと思います。ありがと うございます。
- とても良いインプットとなりました。帰ってアウトプットします。

### 事務局コメント

- 直前のキャンセルもあり、参加者が限られていたが、講義と現場体験があい まって、充実した学びの機会となった。
- 少人数だけに参加者同士で密なコミュニケーションをとれたことも良かった。

### 開催概要

### ■目的・狙い

単に「研修を受ける」のではなく、できる限り現地もしくは、受講生の地元での事業化を目指すことを目的とした研修。

### ■実施内容

- 実際のまちづくり会社やまちの課題を舞台に、TM協会メンバーなどの有識者が複数で、現実の課題から特定のテーマ を抽出する。
- その後、テーマに沿った分野の専門家から講義を受け、課題解決のための事業を企画、実行する。

### ■開催先およびテーマ等一覧

地域	実施日	テーマ	担当
兵庫県 姫路市	2月1日(金)~3日(日)	姫路駅西地区を対象にしたリノベー ション(空き地、空き店舗など)	一般社団法人ひとネットワーク ひめじ
広島県 呉市	2月8日(金)~10日(日)	公共空間(道路、河川、公園)の活用 と既存施設のリノベーション	呉市産業部
青森県 八戸市	3月4日(月)~6日(水)	移動建築コンテナを使った空き地の 活用	八戸商工会議所

初日(13:30~18:00)、2日目(10:00~18:00)、3日目(10:00~15:00)の予定

### 開催概要

### ■想定参加者

### (1)地域側

- 事業を推進し、継続的に担い手になれる地 元メンバー
- 上記地元メンバーを応援したい地元の方
- 事業を支援できる団体、行政機関など
- 事業を支援できる地元企業
- 事業を支援できる地元金融機関

まちづくり に関連する 事業創出

### (2)地域外

- 事業立案を実践したいと思っている方 (育った地域に対して愛着のある方を含む)
- ※参加予定者が顕在化していないため、 まちげんきサイトを活用して公募

### ■協力パートナー

- 街制作室(株) 渋谷氏
  - 商業開発、リーシングなど http://www.machi.co.jp
- YADOKARI(株) 上杉氏
  - ・ 移動店舗、リノベーションなど http://yadokari.net
- (株)多治見まちづくり 小口氏
- (株)みらいもりやま21 石上氏

# 当日のスケジュール

日程	時間	内容
初日	13:30-13:50	オリエンテーション ・実施研修で目指していること(事業化に向けた検討であること)の再確認 ・実地研修のスケジュール確認 ・想定しているテーマの確認
	14:00-14:40	専門家レクチャー ・本事業に関連するテーマに知見を有する方からの講義
	15:00-17:00	グループごとに検討 ・現地視察 ・地域資源、可能性の共有 ・事業展開が可能な取り組み(アイデア出し) ・とりまとめ
	17:00-18:30	検討状況プレゼン ・グループごとの発表(地域の可能性、事業展開が可能な取り組みアイデア)
	18:30-	全体懇親会
2日目	10:00-12:00	グループごとに検討 ・事業展開が可能な取り組み(アイデア)の絞り込み ・絞り込んだ取り組みの事業化検討
	13:30-14:10	専門家レクチャー ・本事業に関連するテーマに知見を有する方からの講義
	14:30-17:00	グループごとに検討 <ul><li>事業化検討</li></ul>
	17:30-18:00	検討状況プレゼン ・グループごとの発表
	18:00-19:00	交流会
3日目	10:00-13:00	グループごとに検討 ・事業化検討 ・とりまとめ
	13:30-14:30	検討内容プレゼン
	14:30–15:00	クロージング All rights reserved

Copyright(C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

# 各地域の様子

姫路市 呉市 八戸市







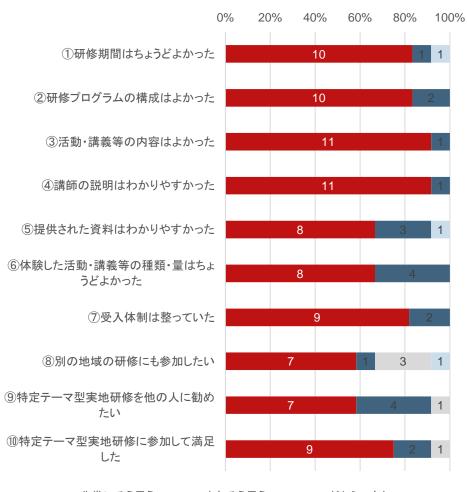






# 特定テーマ型実地研修の評価・感想 姫路市

#### 研修に対する評価・満足度



- 1. 非常にそう思う
- ■2. まあそう思う
- ■3. どちらでもない

#### ■4. あまりそう思わない ■5. 全くそう思わない

#### 特によかった点

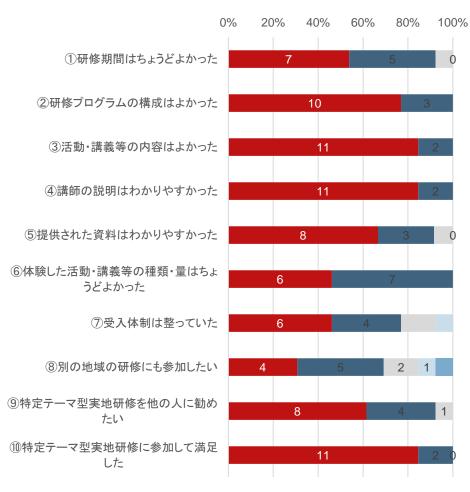
- 現実のまち、エリアが対象であったため、具体的な検討ができた。講師のお 話が、実際の事業プランを検討するに当たり、参考になる内容だった。
- 参加メンバーの質が高く、設定されたプログラムにのっとっていい提案が出 来た。専門家からアドバイスが面白かった。
- 実践できる内容にまとまったこと。グループ分けが非常に良かった。このグ ループで出来れば実践し、次へ次へ展開していきたい。
- まちの1日(朝・昼・夜)を見ることで、まちの課題がよく見えてきます。そこで、 多くの視点や先生方のアドバイス(視点や問題意識)があり、プロジェクトを 立ち上げる上での学べるところが沢山ありました。
- 他都市の具体例が興味深った。
- より現実的な視点で、講師からのレクチャー、指摘があるのは、よかった。
- 現実にそくしていて、実現性が見通せた。新しい見方ができた。収支まできち んと計画ができること。
- 地域の再認識・グループディスカッション
- 求められる成果が明確で、他の点においてはフリーだった点。外からの参加 者が、自分の地域での体験、ノウハウを適切に提供してくれた点。経産省の 方のサポート。約二日半という期間の長さ。専門家からの情報提供コメント。
- 実地研修の部分はイメージがしやすく、普段より具体的な話が多くできたう。 え、専門家の助言をすぐに受けれるところがよかった。
- 異業種で強みの違う人と事業プランを検討できたこと。
- 講師の方々の知識とアドバイスが的確で、非常に参考になりました。まちの ことを知る機会になったこと、まちの方々と知り合い、話す機会が得られたこ と、地域の方々、みんなと同じ課題を共有し、向き合う時間を得られたこと。

#### 特に改善すべきこと

- 小さい街なので、参加者がすべて知人だったので、外部の参加者の視点も 欲しいと思った。
- チームのメンバーが出入りがあること。
- 討論・討議の時間が長い。
- 他市から人々への事前の状況説明がもう少し詳しく必要ではないのか。例え ば、周辺へのまちあるき等・今回のプランを実際に誰か行うまでを、どこまで 含むのか、実施主体か現れるまで行うのか?
- 告知の時間がなくて、参加者の調整がたいへんだったと思う。

# 特定テーマ型実地研修の評価・感想 呉市

#### 研修に対する評価・満足度



- 1. 非常にそう思う
- ■2. まあそう思う
- ■3. どちらでもない
- ■4. あまりそう思わない ■5. 全くそう思わない

#### 特によかった点

- 専門家のご意見は特に参考になった。複数の頭で取りかかるチームのキズナができた。
- 講義がわかりやすかった。
- 服部さんのファシリテーションが素晴らしかった。彼の進め方やコメントが的確だった。
- 普段学べないことが学べてよかった。
- このような事がないと、最後まで作り上げることはできなかったと思います。
- 専門家の方々が本当に現時の課題に会う方々で大変ためになった。⑦について、市には大変よくしていただいたと思います。自身が準備不足との反省です。
- 細かな事業計画を提出する点は特に勉強になりました。
- 事業化につながる手段となったところ
- まちを3日間本気で考えることで(3日間でとりあえずやりとげることで)、まちを想うことが強くなり、(主体的に)やりとげることにつながると思いました。新たなリーダーや担い手を探す(見つける)きっかけにもなり、とても良いと思います。どんどんやって頂きたいです。

#### 特に改善すべきこと

- 研修内容がもう少しわかっていれば、参加者も増えてたのではないかと思います。研修内容のわかりやすさを市民に伝えるべきかと思いました。
- 人が集まりにくいと思いますが、もう1日(高度化研修はよかったので)研修日を増やして、外部(もしくは事業の競合)を見る日があると、もっと具体に、現実的(客観的)視野をやしなえると思います。あと、税金のことを知らない人が多い感じでしたので、少しレクするのも良いかも知れません。複数の研修に参加させていただき、ありがとうございました。

#### その他

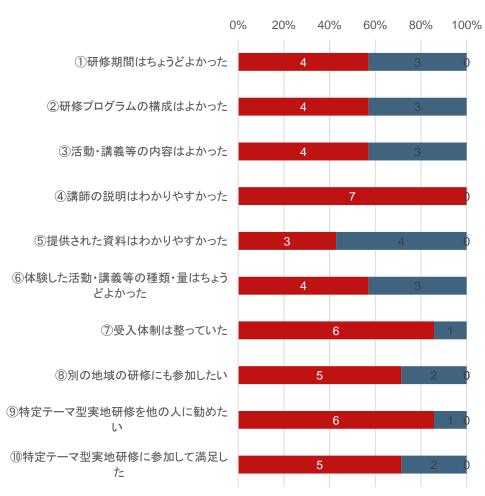
- 企画、検討の一連の流れを学ぶことができました。とても勉強になり、よかったです。
- 街のことで課題を抱えている人にすすめます!
- 実現のためがんばります。



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

# 特定テーマ型実地研修の評価・感想 八戸市

#### 研修に対する評価・満足度



- 1. 非常にそう思う
- ■2. まあそう思う
- ■3. どちらでもない
- ■4. あまりそう思わない ■5. 全くそう思わない

#### 特によかった点

- 八戸の実際の問題点を街歩きしながら共有し、事業計画、数字を立てたとこ
- 実際の事例を用いて具体的に検討することができた点、YADOKARIからの 説明は大変参考になった。
- 支援者の方々の面識を頂けたこと、まちづくりの醍醐味を味わえたこと、上 杉氏の講演内容
- チームで一つの課題を最後までつめることができて良かったです。
- 短期間で事業モデル構築を仕上げるところまで行うことで、集中力や参加者 同士の信頼も高まった。講師陣が暖かい助言をしていただき、発言もしやす く、集中しながらも、終始良い雰囲気となった。
- 初めてだったので、少し大変でしたが、勉強になりました。事業化ももやっと 考えてばかりでしたが、きちんと考えることを教えて頂いたので、活かしてい きたいと思います。

#### 特に改善すべきこと

- メンバーに地元金融機関の人間も入れてほしい
- 個別具体の内容に加え、まちづくりを考える上で抑えておくべき点を、より明 確に示して頂けるとなお良い。
- 少しミクロの視点から出発しすぎていたかと思います(受講者の二一ズにもよ) りますが)。
- 収支の基本的な組み立て方を説明頂きたかった。現地説明状況。
- 特にありません
- 日程の都合とは思いますが、YADOKARIのお話は前半日程でお伺いできる。 と良かったかなあと思いました。

# (2)まちづくりオープン会議

# まちづくりオープン会議の狙いと概要

### ■趣旨

- 地域のまちづくり関係者が、公開形式で取組を紹介し合い、一般参加者も交えた議論を行うことで、お互いに学びあう機会を提供する。その中で、新たな人材の掘り起こしや人脈の形成、まちづくりにおける役割を見出すことも目指した。
- 本年度は、本業を通じて地域貢献を行う、CSV(Creating Shared Value = 共有価値の創造)の考え方を背景とした「民間企業(産・金・言)によるまちづくり」をテーマとして実施した。
- 具体的には、基調講演で「CSVの考え方とまちづくり」に関する導入があった後、各登壇者にまちづくりに関わる取組事例についてご紹介いただき、最後にはパネリストとして、「本業を絡めたまちづくりの難しさや可能性」について、ディスカッションしてもらった。

### ■開催日時

● 2018年12月10日(月)13:00~16:30

### ■会場

■ TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原

### ■応募者数

● 87名

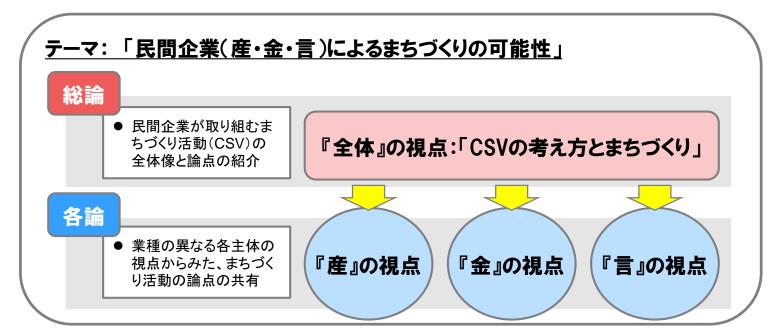
# 『全体』の視点から語る総論と、『産』『金』『言』の各視点から成る2段階構成で、 民間企業によるまちづくりの可能性について議論を実施。

### ■総論

● 企業のCSVの基本的な考え方を紹介するとともに、その考え方がまちづくり活動において、どのように活かされるのか 全体像を共有した。

### ■各論

● 総論の全体像の共有を受け、業種の異なる各企業から、個別具体の事例・活動についての紹介を通して、民間企業と してまちづくりの現場に関わる上での難しさや可能性について共有した。



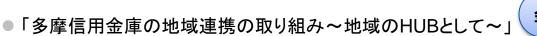
# 講師

### ■登壇講師

- 「協業による価値創造とまちづくり」
  - 一般社団法人CSV開発機構、(株)ユニバーサルデザイン総合研究所
    - · 理事長·所長 赤池 学 氏
- 「鉄道会社とまちづくり ~ 東急沿線でのまちづくり~」



- 東京急行電鉄株式会社 都市創造本部 開発事業部 事業統括部 企画課
  - 課長 山口 堪太郎 氏



- 多摩信用金庫 地域連携支援部
  - 主任調査役 沼崎 明大 氏
- 「まちづくりを取材する記者からまちづくりをする記者に」



- ・ 株式会社福井新聞社 まちづくり企画班
  - 記者 細川 善弘 氏、高島 健 氏

# まちづくりオープン会議の実施

#### 【成果・課題】

- まちづくりにおけるCSVという新しい見方を紹介できた。アンケート結果は集計前だが、参加者の満足度は高かった。
- 企業関係者に多数参加していただいたが、まちづくり会社職員等の参加はやや少なかった。まちづくりにおける企業との連携の意義、可能性等 についての情報提供、打ち出しの強化が必要である。

時間	内容
12:30~13:00	開場・受付開始
13:00~13:10 (10分)	■開会挨拶(コメンテーター紹介) 経済産業省 地域経済産業グループ 中心市街地活性化室長 松原 浩司 氏
13:20~14:00 (40分)	■基調講演 「協業による価値創造とまちづくり」 赤池 学 氏(一般社団法人CSV開発機構 理事長)
14:05~16:05 (120分)	報告+パネルディスカッション 「民間企業(産・学・金)によるまちづくりの可能性」 ◇コーディネータ 赤池 学 氏(一般社団法人CSV開発機構 理事長) ◇パネリスト 「『産』の視点(電鉄):鉄道会社とまちづくり ~東急沿線でのまちづくり~」(案) 山口 氏(東急電鉄・都市創造本部) 「『金』の視点:多摩信用金庫の地域連携の取り組み~地域のHUBとして~」(案) 沼崎 氏(多摩信用金庫・まちづくりG) 「『言』の視点:まちづくりを取材する記者からまちづくりをする記者に」(案) 高島氏、細川 氏(福井新聞社・編集局社会部・まちづくり企画班)
16:05~16:30 (25分)	質疑応答 会場からの質問、意見

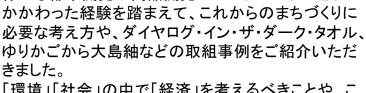
## 開催レポート

- CSV(=Creating Shared Value 共有価値の創造)とは、地域の公益と企業の事業益を両立させることで、企業の成功を社会の発展に結びつけ る考え方を言います。いま、民間企業における取組をまちづくりに活用する新たな方向性として、企業の本業を通じて地域貢献を行う、CSVの考 え方が定着しつつあります。
- 今年度のまちづくりオープン会議では、このCSVの考え方に基づき、それぞれ先進的な事例を作ってこられた方々から、その活動をご紹介いた だくとともに、各事例の方々によるパネルディスカッションを実施しました。
- 当日のプログラムと概要は、下記の通りです。

#### ●基調講演:

「協業による価値創造とまちづくり」

- 一般社団法人CSV開発機構理事長、(株)ユニバーサルデザイ
- ン総合研究所所長 赤池 学 氏



「環境」「社会」の中で「経済」を考えるべきことや、こ れからのまちづくりにあたっては、過去の成功例、失 敗に囚われず、ユニークな事業を構想することが重 要であることの重要性を提起していただきました。

様々な都市開発や商品開発にプロデューサーとして

#### ●報告:【産】

「鉄道会社とまちづくり ~東急沿線でのまちづくり~」 東京急行電鉄株式会社 都市創造本部 開発事業部 事業統括部 企 画課 山口 堪太郎 氏



東急電鉄が取り組んできた沿線開発の取組の考 え方や、具体的な取組事例を紹介して頂きました。 渋谷における"歩いて楽しいまちのゲートウェイ" をめざす取組、たまプラーザにおける"CO-NIWA"と呼ばれるコミュニティリビングを目指す取 組、クリエイティブシティを目指す二子玉川など、 東急電鉄沿線における具体的な取組を紹介して 頂くとともに、人を活かしたまちづくりの大切さを 提起して頂きました。



## 開催レポート(つづき)

#### ●報告:【金】

「多摩信用金庫の地域連携の取り組み~地域のHUBとして~」 多摩信用金庫 地域連携支援部 主任調查役 沼崎 明大 氏



地域における金融機関として取り組んできた、行政・ 大学との連携や、中間支援機関との連携、広報活動 など、まちづくりの具体的な取組について紹介して頂 きました。

TAMA創業支援センターの運営、多摩CB(コミュニ ティビジネス)ネットワークの取組や、オフィス1Fの八 王子まちなか交流・活動拠点kikkit+としての提供など、 金融機関として地域のつなぎ役、広域連携や協働の きっかけ、情報や人が動く仕組みづくりへの貢献に注 力していることをご紹介頂きました。

#### ●報告:【言】

「まちづくりを取材する記者からまちづくりをする記者に」株式会社福 井新聞社 まちづくり企画班 記者 `細川 善弘 氏、 高島 健 氏





単に取材記事をまとめるのではなく、自ら現場で行動 する中でリアルタイムな報告をするという新聞社とし ては型破りな企画活動の経験についてご報告頂きま した。

福井の「食」に着目したイベント「フードキャラバン」を 起点として、地元商店街と連携してNPOを立ち上げ、 レストラ、コワーキングスペースを開設したことなど、 手探りに取り組んだまちづくりの中での学びや出会い の大切さをご報告頂きました。

#### ●パネルディスカッション:

■ ご登壇頂いた赤池学氏のコーディネータのもと、報告者とのパネルディス カッションを開催しました。赤池氏からパネリストへの質問を通じて、『 **産』・『金』・『言』それぞれの視点に立った「企業としてまちづくりに** 取り組むことの意義、強み」や「課題」等について、パネリストからご紹 介頂きました。行政との関わり、地域との付き合い方など、会場から寄せ られた質問に対しても丁寧に答えて頂きました。

#### ◇コーディネーター

赤池 学 氏(一般社団法人CSV開発機構 理事長、ユニバーサルデザイン総 合研究所 所長)

#### ◇パネリスト

山口 堪太郎 氏(東京急行電鉄株式会社)

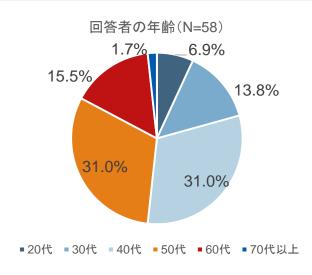
沼崎 明大 氏(多摩信用金庫)

細川 善弘 氏 (株式会社福井新聞社)

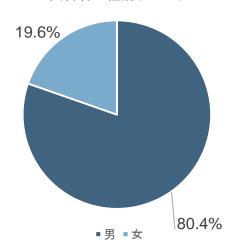
高島 健 氏 (株式会社福井新聞社)



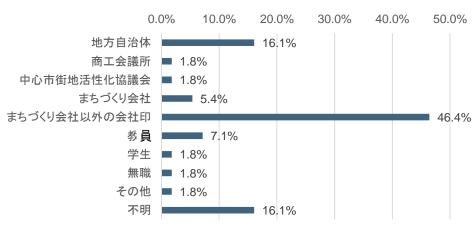
# 30~40代の男性を中心に、民間企業、自治体関係者など、多様な属性の参加者を集客。 街元気サイトからが半数で49.1%、その他事務局からの告知や参加者の紹介が多い。



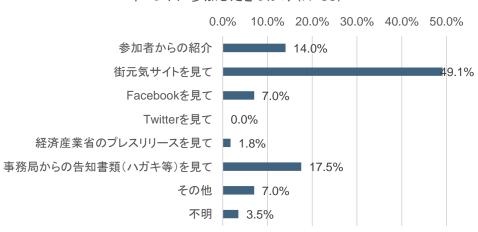
回答者の性別(N=58)



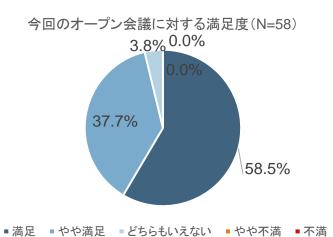
#### 回答者の職業(N=58)



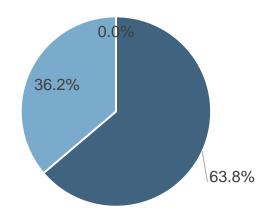
#### イベントに参加したきっかけ(N=58)



# 参加者の満足度は高く、次回への参加意向も60%強となっている。 今回は、受講者数に対して会場の広さも適切でアレンジできた。

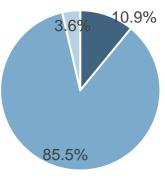


来年度以降のオープン会議への参加意向(N=58)

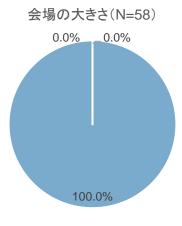


■参加したい■条件が合えば参加したい(場所・時間)■参加が難しい

#### 会議全体の時間(N=58)



■短い
■適切
■長い



■ 狭すぎる ■ 適切 ■ 広すぎる

# (3)委員会の開催

## 人材育成委員会

# 実施概要

項目		内容	
名称	第1回人材育成委員会	第2回人材育成委員会	第3回人材育成委員会
日時	平成30年5月28日(月) 10:00~12:00	平成31年1月7日(月) 13:00~15:00	平成31年3月14日(木) 10:00~12:00
会場	TKP新橋カンファレンスセンター ミーティングルーム	TKP新橋カンファレンスセンター ミーティングルーム	TKP新橋カンファレンスセンター ミーティングルーム
議事 次第	<ol> <li>開会</li> <li>挨拶</li> <li>委員紹介・座長選出</li> <li>議事         <ul> <li>(1)資料説明</li> <li>(2)平成30年度事業について意見交換</li> <li>(3)その他</li> </ul> </li> <li>閉会</li> </ol>	<ol> <li>開会</li> <li>挨拶</li> <li>議事</li> <li>(1)八戸市における中心市街地活性化の取組について風張知子氏(株式会社デーリー東北新聞社取締役経営企画室長)</li> <li>①「はっち」を核とする中心市街地のまちづくりについて②まちづくりの体制づくりと人材育成について③今後の課題と展望(2)今年度事業の進捗状況について(3)その他4. 閉会</li> </ol>	<ol> <li>開会</li> <li>挨拶</li> <li>議事</li> <li>(1)資料説明</li> <li>(2)意見交換</li> <li>①座学研修</li> <li>②実地研修</li> <li>③まちづくりオープン会議</li> <li>④まちづくり次世代会議</li> <li>⑤ポータルサイト(街元気サイト)の維持・管理・運営</li> <li>⑥事業の広報及び追加実施事項</li> <li>⑦今後の研修等について</li> <li>(3)その他</li> <li>4. 閉会</li> </ol>

### 人材育成委員会

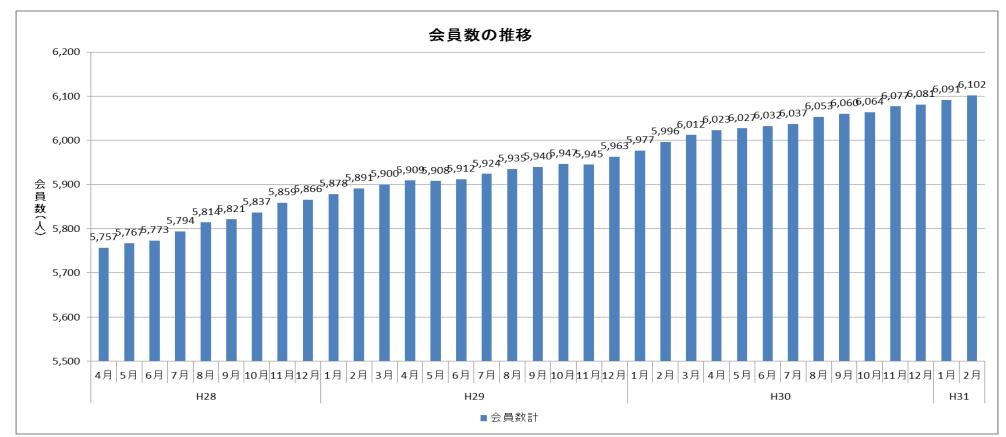
## 委員名簿

- ■以下の委員にご参加頂いた。
  - 足立 基浩 和歌山大学経済学部 教授
  - 加藤 博 青森新町商店街振興組合 副理事長
  - 木下 斉 一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事
  - 杉谷 第士郎 オフィスコモンズ代表
  - 高本 泰輔 株式会社金沢商業活性化センター ゼネラルマネージャー
  - 細野 助博 中央大学総合政策学部 教授
  - 村木 美貴 千葉大学大学院工学研究院 教授
  - 渡辺 達朗 専修大学商学部 教授(委員長)

(敬称略、五十音順)

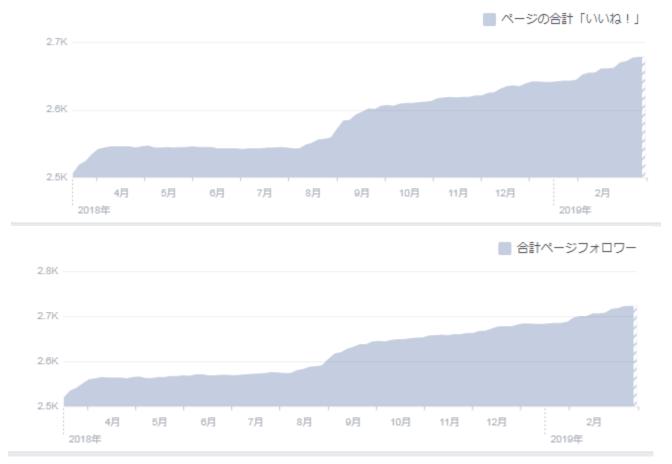
## 平成30年度の運営状況(会員登録状況)

- ■2018年3月1日~2019年2月末の新規登録会員数は106名で、前年の105名と比較すると1名会員数の増加 数が増えている。
- 2018年3月1日~2019年2月末のTwitterのフォロワーは24名増加。ただし、8月に25名減少したこともあり (Twitter全体のアクティブユーザ数が減少したタイミング)、前年よりは増加数が減少している。



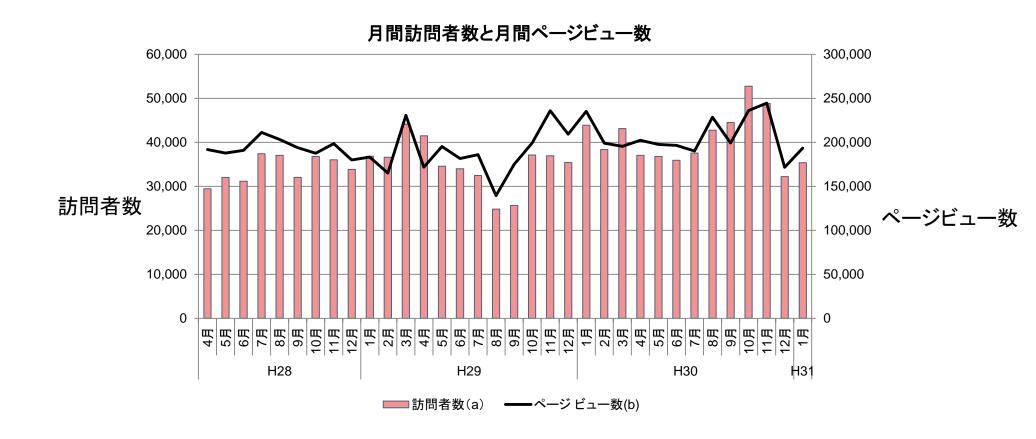
## 平成30年度の運営状況(SNSの状況)

- 2018年4月1日~2019年3月28日の街元気Facebookページでの「いいね!」数は143で累計2,689名、フォ ロワーの増加数は119名で累計フォロワー数2,733名となっている。
- 街元気会員へのメルマガに加えて、情報伝達の手段としてFacebookによる伝達が、有効に働きはじめてい ると考えられる。



## 今年度の運営状況(訪問者数・ページビュー数)

- 今年度の訪問者数は、10月までは増加した後、12月に減少したが、1月以降回復傾向にある。
- ■12月には研修募集がなく訪問者が減少したが、1月以降に特定テーマ研修、座学研修などの開催告知を 行ったことで、サイトへの訪問者が増えたと考えられる。



## 研修・セミナーの募集掲載

- ■研修・セミナーの募集掲載
  - 座学研修、特定テーマ型実地研修、インターンシップ型実地研修、まちづくりオープン会議、次世代会議の参加者募集 を掲載

### 研修・応募

### 平成30年度 特定テーマ型実地研修

特定テーマ型実地研修は、先進的なテーマでまちづくりに取り組んでいる地域で、取組を牽引するま ちづくりリーダー等のもと、現地視察等を通じて取組の現状やノウハウを学ぶとともに、参加者同士の ネットワークづくりが行える研修です。

日程	研修受入地域 開催場所	テーマ/受入機関及び研修講師	募集人数	受付状況
平成31年 3月4日 (月) — 3月6日 (水)	青森県 八戸市 研修内容	「空き物件のサブリース&空き地活用」		受付終了
		札幌大通まちづくり株式会社 取締役 統括部長 服部 彰治 氏	10名程度	
		「公共空間(道路、河川、公園)の活用と既存施設のリノベーション」		
平成31年 2月8日(金)- 2月10日(日)	広島県 呉市 研修内容	札幌大通まちづくり株式会社 取締役 統括部長 服部 彰治 氏	10名程度	受付終了
		街制作室株式会社 アーキテクトチーム プロデューサー 渋谷 正明 氏		
平成31年 2月1日(金)- 2月3日(日)	兵庫県 姫路市 研修内容	「姫路駅西地区を対象にしたリノベーション (空き地・空き店舗など)」		受付終了
		札幌大通まちづくり株式会社 取締役 統括部長 服部 彭治 氏	10名程度	
		街制作室株式会社 アーキテクトチーム プロデューサー		

平成30年度「中小企業等支援人材育成事業(中心市街地活性化普及促進事業)」 特定テーマ型研修 - 特別編③ (八戸市) -

> 平成31年1月 株式会社 野村総合研究所

#### 1. はじめに

特定テーマ型実地研修は、先進的なテーマでまちづくりに取り組んでいる地域で、現地視察等を 通じて取組の現状やノウハウを学び、参加者同士のネットワークづくりを行うことを目的とした研

しかし、今回の特定テーマ型実地研修は、「特別編」ということで、これまでとは趣向を変えた 内容で開催いたします。

今回、研修を実施する地域は青森県八戸市です。本研修の参加者は、まちづくりに関する新規事 業をいくつも創り上げてきた講師とともに、移動建築コンテナを使った空き地の活用に関する新た な事業や取り組みを検討します。ここで検討した事業や取り組みの構想につきましては、本研修終 了後も、「八戸商工会議所」と連携し、継続して検討を進めていきます。

単に研修を受けて、まちづくりについて学ぶだけに留めず、八戸市をフィールドに新たな事業を 創出していく研修となっています。研修には、札幌大通まちづくり株式会社取締役統括部長 服部 彰治 氏に講師および事業構想策定のためのサポーターとして参画していただき、実際に事業構想 を行っていきます。

まちづくりの新たな事業をゼロから創り出すことに関心のある方、まちづくり会社の新規事業担 当者のみなさまにおすすめの研修プログラムとなっております。ご参加をお待ちしております。

#### 2. 研修の概要

#### 2. 1 研修テーマと講師

テーマ:「空き物件のサブリース&空き地活用」

講師・サポーター:

服部 彰治 氏(札幌大通まちづくり株式会社 取締役 統括部長)

### 2. 2 研修の対象者と受講者数

対象者: 八戸市において、具体的な事業を手がけたい、または新規事業の創出プロセスを学び たい方を対象としています。

募集人数:10名程度(先善順)

#### 2.3 研修時期・内容

研修時期: 平成31年3月4日(月) 13:30~3月6日(水) 15:00

集合時刻·場所:

平成31年3月4日(月)13:30(受付は13:00からとなります) -----

## 研修・シンポジウム等の実施概要の掲載

- 下記の座学研修、オープン会議における講義・シンポジウム等について、実施概要を作成して掲載した。
  - 平成30年度 第1回座学研修(初級編)について
  - 平成30年度 第2回座学研修(中級編)について
  - 平成30年度まちづくりオープン会議「民間企業(産・金・言)によるまちづくりーCSVの可能性ー」について
  - 平成30年度 第3回座学研修(中級編)について



## まちづくり関係者等のインタビュー記事の掲載

- 先進的なまちづくり事例や、コラム、インタビュー記事等を掲載した。
  - 新たなコンテンツを追加する際は、外部の関連情報や、 街元気サイト内の関連情報へのリンクを設け、訪問者が より多くの情報に連鎖的に到達できるようにし、アクセス数を伸ばす取組も実施した。
- ■以下の6名に取材
  - 有限会社ハートビートプラン 園田聡
  - 株式会社スペースRデザイン 吉原勝己
  - 商店街活性化・まちづくりアドバイザー 熊谷慎一
  - 青梅市中活協議会タウンマネージャー 國廣純子
  - 株式会社小田屋 上田嘉道
  - 株式会社まちづくり松山代表取締役社長 加戸慎太郎

## まちづくりに関する各種政策等の情報提供

■「経産省からのお知らせ」を整理・情報追加し、「政策関連情報」としてメニューを再構築した。





## まちづくりに関する各種政策等の情報提供

- ■経産省等からのお知らせの継続的 掲載とメルマガ配信
  - 経済産業省関連の補助金、低利融 資等の公募情報を継続して掲載し、 メルマガで配信した。
  - 経済産業省以外のまちづくり関連の 情報についても、必要と考えられる情 報を掲載し、メルマガで配信した。
- ■また、「政策関連情報」関連のサイト メニューの改修にあわせて、経済産 業省及び他省庁によるまちづくり関 連の補助金等の情報について、一元 的に提供し蓄積できるようにした。

平成31年度地域まちなか活性化・魅力創出支援事業費補助金(中心市街地活性 化支援事業)の公募について(第1次募集)

中心市街地の活性化に資する調査、先導的・実証的な商業施設等の整備及び専門人材の招聘に対して重 点的支援を行うことにより、まちなかの商機能の活性化・維持を図り、市町村が目指す「コンパクトで にぎわいあふれるまちづくり」を推進するものです。

### ■補助対象

中心市街地の活性化に資する調査事業及び先導的・実証的事業 (施設整備事業) 並びに専門人材活用支援事業

■補助対象者

民間事業者 等

- ■補助率・補助上限額
- ・調査事業:1/2または2/3・750万円または1,000万円
- ・先導的・実証的事業(施設整備事業):1/2または2/3・1億円または2億円
- 専門人材活用支援事業:1/2または2/3・1,000万円または1,500万円
- ■公募対象期間(締切)

平成31年2月25日(月)※所轄経済産業局等に12時必着

■コンタクト先

所轄経済産業局

詳細は、下記サイトをご参照ください。

http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2019/k190204001.html

## SNSを活用した情報提供

■ 新着情報を発信する際、街元気サイトのTOPへの新着情報掲載に併せて、TwitterとFacebookページにも トピックとして掲載するようにし、FacebookやTwitterのフォロワーに対して、情報が到達する運用を行った。

### Twitterでの情報発信

- 街元気サイトの更新内容についてTwitterで情報発信を行って おり、その画面例を次に示す。
- Twitterでの情報発信に関する2019年3月28日時点での 累積ツイート1,661、フォロー1,303、フォロワー1,426で、フォ ロワーは昨年3月6日時点の1,392から34名増加した。
- ■3月28日時点で、直近3ヶ月間のツイートに対して、表示件数 41,861件で、昨年の同期間の表示件数33,938の1.2倍程度 である。



## マチイベ(街のイベント情報)の登録・公開

- ■マチイベに掲載するイベントについては、恒常的にサイトでの受付を行っている。
  - マチイベとは、全国各地のまちづくりに関するイベントを一元的に登録・集約し、WEBを通じて、当該イベントに関する 情報を検索することができる機能である。
  - また、昨年の掲載情報の更新を確認し、継続的にイベントの更新登録を行っている。
    - 2018年度の掲載件数は280件(3/29日時点)
- 掲載したイベントについては、メルマガ、Twitter, Facebookに掲載してお知らせしている。
- ■さらに、開催機関の指定による検索、イベント名による 検索、都道府県を指定しての検索など検索性を向上 させるための工夫を行なっている。
- 過去分については、イベントの主催者側で、事後に 情報が削除・変更されることもあることから、 毎年度末に前年度分を削除する運用としている。



## 統計情報の整理

- ■経済センサスの集計対象市の拡充
  - 2018年3月31日時点の中心市街地活性化基本計画 認定 136市⇒142市2町
  - 経済センサス H21, H24, H26
  - 各市町の中心市街地エリア内についての統計値を集計(産業中分類別)
  - 市全域/中心市街地エリア/特化係数(市全域、中心市街地エリア)
  - 集計項目
    - · (H21)従業者数、事業所数
    - (H24)売上原価、給与総額、和税公課、パートアルバイト数、従業者数、事業従事者数、売上(収入)、付加価値 額、事業所数
    - (H26)従業者数、事業所数、売上(収入)金額
- 商業統計(H26)の追加
  - H26商業統計
  - 商品販売額、小売り販売額、売場面積、駐車場台数、飲食部門収入額、サービス業収入額等
- ■整備スケジュール
  - ●8月~10月 中心市街地エリアGISデータ、中心市街地町丁目データの整備
  - 11月~12月 経済センサス(H21,H26)データ集計
  - 1月~2月 経済センサス(H24)、商業統計 集計
  - 3月 統計値の秘匿処理、街元気サイト掲載加工

## 街元気サイトの確実な管理運営

- ■サイトを構成するソフトウェアのセキュリティ維持
  - 街元気サイトの継続的なセキュリティ確保を行うため、継続的にセキュリティパッチの適用を行うほか、街元気サイトの構築に使用しているCMS(コンテンツマネジメントシステム)ソフトウェアのサポート期限に対応し、Joomla!のバージョンアップ(Ver.3.7→Ver3.8)を実施した。
  - バージョンが大きく変わることにより、従来のコンテンツが支障なく動作するよう、修正を加えサイトの外観が変化しないように対処した上でバージョンアップを行った。
- ■月次のアクセス状況の報告
- ■サイトのセキュリティ対策・脆弱性対策
  - 毎月プラットフォーム診断(脆弱性検査)を実施し、新たな脆弱性が発生していれば修正対応を行う。

# 事業の広報および追加実施事項

## 事業の広報 SNS広告の活用

### SNSの広告活用について

- ■毎月のアクセスログ集計の結果から、概ね3割程度のユーザがモバイル・タブレットを使用して街元気サイト にアクセスしていることがわかっている。
- TwitterやFacebookを活用して研修募集(インターンシップ研修・特定テーマ研修・オープン会議・座学研修 の募集)やマチイベ登録イベントのお知らせを実施。
- 研修・オープン会議については、街元気Facebookページへのイベントとして登録し、研修等の現場から研 修状況などの投稿を行った。さらに、街元気サイトで募集を開始した際に、Twitterへの投稿によるお知らせ と、Facebookに近況として投稿を行った

### Facebookの広告活用

- Facebookの有償広告を利用してサイトの宣伝を実施した。
  - ●「まちづくり」「中心市街地活性化」「都市計画」に関心を持つ 日本国内のユーザに対して広告が配信されるように設定。
  - 広告配信に対して、5%程度のレスポンスを得ている。
  - レスポンスはFACEBOOK上で研修に参加してみたいという 意向の応答(参加申込ではない)。

### メルマガの配信

■ 调次で街元気サイトの会員に対し、メールマガジンを配信



### 広報事業の広報および追加実施事項

## 全国TM協会を経由して、まちげんきに関するちらしを発信

### 「まちげんき(経済産業省委託事業)」のご紹介

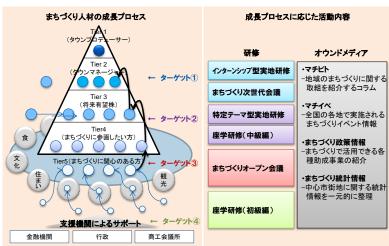
#### まちげんきとは

地方創生の文脈の中で、まちづくりが注目を集めるなか、地域には「まちを経営するという視点にたち、 まちを牽引し、プロデュースする組織や人材」が必要不可欠といえます。

まちげんきでは、地域における人材の育成・確保の一助となる多様な事業を実施しています。具体的に は、まちづくりの人材を育成するための研修、シンポジウムの開催等、関連サイトに有益なコンテンツ(ま ちづくり関連イベント、取組事例、統計データ、施策動向等)を掲載しています。

### まちげんきの取組 ーまちづくり人材の成長プロセスに応じた複層的な活動の実施ー

オウンドメディアやSNSをフックに、まちづくりに漠然と関心のある層を掘り起こすためのコンテンツを提 供するとともに、まちづくりのプレイヤー・サポーターとしてのステップアップの機会となる研修を企画・運 営しています。



### まちげんきの具体的な取組(1) ーオウンドメディアー

HPで各種情報を提供しています。会員(現在6,000名)登録により、研修情報を定期的に受信できます。



### まちげんきの具体的な取組② -研修-

まちづくり人材の成長プロセスに応じた研修(座学研修、現地研修、オープン会議など) を企画・運営しています。

### 座学研修(初級編)

- まちづくりに関わるプレイヤーをサポートする 地域の「支援機関」に所属する方を対象とし、 まちづくりおよび地域の活性化に繋がる手法を 学べる研修(先進事例や関連制度等を含む)
- 日時:9月4日(火)13時~5日(水)15時
- 場所:品川フロントビル会議室
- 講師一例:
- ·尾崎弘和(田辺商工会議所 経営指導員室長)
- ・河村啓太郎(まちあい徳山代表取締役)
- · 綾野昌幸(伊丹市教育委員会 生涯学習部参事) ・ 兒玉絵美(クロスメディアしまだ タウンマネージャー)

- ・石上僚(みらいもりやま21 マネージャー)
- ・盆子原照晶(てごねっと石見地域コーディネーター)

#### インターンシップ型実地研修

- タウンマネージャーとして将来的なステップ アップを目指す方を対象とし、まちづくりの先進 地域の講師の指導のもと、現場の実務・体験を 通して、実践的なまちづくりの手法を学ぶ研修
- 地域·開催日
- ·兵庫県明石市 11月13日(火)~15日(木) 「競争・連携を意識した中心市街地活性化・中 核事業の組み立て方」
- 土肥健夫(株式会社事業開発推進機構)
- ·長野県飯田市 10月29日(月)~31日(水) 「"身の丈再開発"と"利用と所有の分離"」
- 三石秀樹(飯田まちづくりカンパニー代表取締役専務)

#### 座学研修(中級編)

- まちづくり団体、商店街等の経営者及びタウン マネジャー、自治体産業振興担当を対象とし、 課題分析、具体的なビジネスモデルの作り方、 多様な主体との連携の手法を学び、まちづくり 団体の経営改善、収益構造の転換を図る研修
- 日時:10月17日(水)13~17時
- 場所:都市センターホテル
- 講師一例
- 岩崎正夫(まちづくり福井株式会社 代表取締役社長)
- · 五味 渕一 友(日光商工会議所 専務理事)
- •木藤亮太(株式会社油津応援団 専務取締役)
- ・杉本恭一(豊田まちづくり株式会社 まちづくり推進部)

※2月にもさらに実施予定

#### まちづくり次世代会議

- タウンマネージャー等、まちづくりの現場で活動 している人材(30-40代、一定年数以上の経験 を持つ人材)が、より高度で実践的なまちづくり を行うにあたって必要となるスキルや知識等を 学び、自らの取組みを振返り、中心市街地を はじめとする街の活性化を牽引するマネー ジャーとしてステップアップする機会を提供する
- 日時・場所:2月都内開催の予定
- 内容(案):オリジナルテキストを使用し、まちづ くりに必要となる経営センスとコミュニケーション 能力を向上。また、参加者を10名程度と厳選す ることで、参加者の横のつながり強化も目指す

### 特定テーマ型実地研修

- ①特定テーマについて学ぶ研修、および、 ②まちづくりを仕事にし特定のテーマの突破口 を探している人(事業主体となり得る人)、社会 課題解決やまちづくりに興味のある会社員を対 象とし、できる限り現地もしくは、受講生の地元 での事業化を目指す研修、の2本立てで実施。
- 地域·開催日①
- 新潟県新潟市 10月6日(土)~7日(日)
- ·福島県会津若松市 11月10日(土)~11日(日)
- 地域・開催日②
- ·兵庫県姫路市 2月1日(金)~3日(日) ·広島県呉市 2月8日(金)~10日(日)
- ·青森県八戸市 3月4日(月)~6日(水)

### まちづくりオープン会議

- まちづくりに関わる特定のテーマを扱うシンポ ジウム。テーマは「民間企業(産・学・金)による まちづくりーCSVの可能性ー」。本業を通じて地 域貢献を行うCSVの考え方が定着しつつある 中、先行的な取組の紹介とともに、まちづくりの あり方についての意見交換を行う。
- 日時·場所:12月10日(月)13~17時
- 登壇者
- •赤池学(一般社団法人CSV開発機構理事長)
- · 沼崎明大(多摩信用金庫 地域連携支援部)
- ・細川善弘(株式会社福井新聞社 まちづくり企画班 記者)
- ・高島健(株式会社福井新聞社 まちづくり企画班 記者)
- ·山口堪太郎(東京急行電鉄株式会社都市創造本部)

### 問い合わせ先:まちげんき事務局(株式会社野村総合研究所内)

TEL: 03-5877-7352 Email: machigenki@nri.co.jp

### 事業の広報および追加実施事項

### 街元気サイト、SNSでの情報発信

- ■街元気サイトでの研修募集
  - インターンシップ型実地研修:2件
  - 特定テーマ型実地研修:5件
  - 座学研修:4件
  - オープン会議:1件
- ■メルマガ発信 50通
  - 概ね毎週金曜に送信

#### 平成30年度 インターンシップ型実地研修

インターンシップ型実地研修は、まちづくりの先進地域において、経験豊富なタウンプロデューサー の指導のもと、現場の実務を通して実践的なまちづくりの考え方や手法を身につけることができる研修 です。まちづくりを先導してきたタウンプロデューサー等の直接指導のもと、まちづくり先進地域の取 組を少人数でじっくり学ぶことができます。現場の体験を通じて、実践的なまちづくりの考え方やまち づくりの手法を身につける機会として、ご活用ください。

日程	研修受入地域	受入機関及び研修講師	募集人数	受付状况
10月29日 (月) - 10月31日 (水)	長野県飯田市田藤内田	"身の丈再朝発"と"利用と所有の分解手法のまちづくり" "まちづくりプレーヤー・組織の育て方と官民 協働の実現" 株式会社版田まちづくりカンパニー 代表取締役専務 三五 男祖氏	3名	受付製了
11月13日 (火) - 11月15日 (木)	兵庫県明石市 研修内容	「中心市街地活性化・中核事業の組み立て方、収益改善法」 株式会社事業開発推進機構 代表取締役 <u>土肥 健夫</u> 氏	3名程度	受付終了

#### 平成30年度 特定テーマ型実地研修

特定テーマ型実地研修は、先進的なテーマでまちづくりに取り組んでいる地域で、取組を牽引するま ちづくりリーダー等のもと、現地視察等を通じて取組の現状やノウハウを学ぶとともに、参加者同士の ネットワークづくりが行える研修です。

日程	研修受入地域 開催場所	テーマ/受入機関及び研修講師	募集人数	受付状况
平成30年 11月10日(土) - 11月11日(日)	福島県 会津若松市 (研修內容)	「歴史文化資源と地域の人材を活かしたまち づくり」		受付额了
		まちとひと 感動のデザイン研究所 代表 歴出 とし子 氏 同時まちざミの会 代表・ 株式会社まちづくり同時 代表取締役 松井 洋一郎 氏 株式会社まちづくり会津コーディネーター 稲村 久美 氏	10名程度	
平成30年 10月6日(土)- 10月7日(日)	新灣県 新潟市沼垂 在#內容	「古くて新しいまちの再生 ・新場市溶垂のエリアリノベーションの取担し学ぶ~」 溶垂テラス高店街代表取締役 田村 寛 氏 溶垂テラス高店街専務取締役・ 店舗院接マネージャー 高同 はつえ 氏	10名程度	受付额了

### ■ SNS (Twitter, Facebook) での情報発信・広告による宣伝

- Twitter Facebookでの投稿件数:334件
- FaceBookでの広告件数:10件

#### まちづくりオープン会議

平成30年度まちづくりオープン会議

「民間企業(産・金・言)によるまちづくり一CSVの可能性一」

CSV (=Creating Shared Value 共有価値の創造) とは、地域の公益と企業の事業益を両立 させることで、企業の成功を社会の発展に結びつける考え方を言います。いま、民間企業にお ける取組をまちづくりに活用する新たな方向性として、企業の本業を通じて地域貢献を行う、 CSVの考え方が定着しつつあります。

今年度のまちづくりオープン会議では、このCSVの考え方に基づき、それぞれ先進的な事例 を作ってこられた方々から、その活動をご紹介いただくとともに、各事例の方々によるパネル ディスカッションを実施します。取組を学び、参加者の皆さんの地域において、民間企業とし てどのような地域貢献の可能性があり得るのか、参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思

#### <開催概要>

- ■日時:平成30年12月10日(月)13:00(開場12:30)-16:30
- ■場所:TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原(ホール2A)

東京都千代田区外神田1-7-5 フロントプレイス秋葉原 2F

- ●JR山手線 秋葉原駅 電気街口 徒歩4分
- ●JR京浜東北線 秋葉原駅 電気街口 徒歩4分
- ●JR総武線 秋葉原駅 電気街口 徒歩4分
- ●つくばエクスプレス 秋葉原駅 徒歩6分
- ●東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 3出口 徒歩7分
- ●東京メトロ銀座線 末広町(東京都)駅 3出口 徒歩6分
- ●東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B2出口 徒歩7分 https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-akihabara/access/

#### ■主催:経済産業省